



組合中央金庫ニ預金ガ出来ルト云フ途  
ヲ開キマシテ、是等ノ工作ニ依リマシ  
テ、商工組合中央金庫ノ資金ノ潤澤化  
ヲ圖リマシテ、サウシテ貸出ノ財源ヲ  
得ヨウ、斯ウ考ヘテ居ル譯ニアリマ  
ス、併シナガラ商工組合中央金庫ハ、  
前ニ申上ゲマシタヤウニ組合金融デゴ  
ザイマシテ、直接個々ノ業者ニ個人金  
融ヲスルト云フ途ガゴザイマセヌノ  
デ、其ノ途ヲ開キマスル爲ニ、更ニ今  
般復興金融金庫ガ設立セラレマシタ機  
會ニ於キマシテ、此ノ復興金融金庫カ  
テノ中小商工業者ニ對スル特ニ中小工  
業方面ニ重點的ニ金融ヲ行フ途ヲ開イ  
タノデゴザイマス、サウ致シマシテ、  
一般ノ市中銀行ト同様ニ、商工組合中  
央金庫ノ本支店、出張所ト云フモノ  
モ、總テ復興金融金庫ノ代理店トナリ  
マシテ、窓口ヲ澤山持チマシテ、中小  
商工業者ニ對シ、出來ルダケ直接ノ金  
融ノ途ヲ開いて行カウト云フ措置ニ致  
シタノデゴザイマス、出來マスレバ復  
興金融金庫ノ中ニ中小工業ニ對スル融  
資ノ枠ヲ設ケマシテ、例へバ十億圓ナ  
ラ十億圓ト云フ枠ヲ設ケマシテ、ソレダ  
ケノ分ハ中小工業者ニ對シテ融資ニ  
充テルト云フ風ナコトモ考ヘテ見タノ  
デゴザイマスルガ、寧ロ金額ノ枠ヲ作  
リマスルヨリハ、自由ニ中小工業者ニ  
ケテ居リマセヌ、併シ特ニ復興金融金  
庫ノ融資ニ當リマシテハ、中小建築ニ  
重點ヲ置クト云フ運營方針ヲ確立致シ  
宜シカラウト考ヘマシテ、別段枠ハ設  
制限ナシニ出來ルダケ融通ヲスルト云  
フ風ナ、運營ノ彈力性ヲ持タシタ方ガ  
合金融或ハ個人金融ニ對シマシテハ、  
別段ソコニ金額ノ制限ハゴザイマセ  
ヌ、要スルニ相手方ノ事業ノ内容デア

リマストカ、或ハ其ノ將來性乃至ハ其ノ  
ノ信用力ト云フ點ニ重點ヲ置キマシテ  
テ、必要ナ限度ニ於テ貸付ラスルコト  
ニナル譯デゴザイマスルガ、其ノ信用  
力ノ問題ト致シマシテモ、中小工業者  
ハ概シテ物的ノ擔保ノ力ガ非常ニ弱ム  
譯デゴザイマスルノデ、出來レバ人的  
ノ信用等ニ依リマシテ、例ヘバ組合ニ  
役員ノ連帶保證ト云フ風ナ個人信用ト用  
云フ點ニ重キヲ置キマシテ、餘リ物的  
ナ擔保ヲ要求シナイデ、金融ヲ圓滑ニ  
圖ツテ行キタ一、斯様ニ考ヘテ居ル譯  
デゴザイマス

ソレカラ物資ノ問題デゴザイマスル  
ガ、御話ノヤウニ現在モ商工組合法ニ  
基キヤマシテ出來テ居リマスル統制組合  
ハ、主トシテ物資ノ配給機關トシテノ  
機能ヲ果シテ居ルモノガ大部分デアリ  
マシテ、是ガ今後統制組合ガ解散致シ  
マシテ、協同組合ノ出来マシタ場合ニ  
ドウナルカルト云フ問題デゴザイマスル  
ガ、是ハ御話ノヤウニ、臨時物資需給  
調整法トノ關係ノ問題ニナツテ來ルト  
思ヒマスガ、臨時物資需給調整法デ考  
ヘテ居リマスル統制機關ト致シマシテ  
ハ、第一ニ物資ノ割當機關ト云フ場合ト  
ト、ソレカラ物資ノ配給機關ト云フ場合  
合ト、二ツニ分ケテ考ヘナケレバナラ  
ナイカト恩フノデアリマス、先づ第一  
ノ物資ノ割當機關トシテ考ヘマシタ場  
合ニ於キマシテハ、先般モ回答ヘ致シ  
マシタヤウニ、主トシテは全國的ナ  
生産者團體ト云フモノガ、物資ノ割當  
機關ニナル場合ガ多カラウト思ヒ  
ス、全國ヲ一本ニシタヤウナ協同組合  
レ變リマシテ、色々ノ協議會トカ協會  
トカ云フモノハ、寧ロ例外のモノデア  
リマシテ、昔ノ統制會ト云フモノガ生

マルガ、サウ云フヤウナ大キナ生産者ノ全國的ナ團體ガ、大體ニ於テ物資ノ割當機關ニ指定サレルモノト考ヘマス、之ニ居リマス、併シ場合ニ依リマシテハ協同組合モ物資割當機關トシテ指定ヲ受ケル場合ガアラウカト考ヘマス、之ニ反シマシテ實際ノ現物配給機關、配給系統ノ中ニ於キマシテハ、ヤハリ現在ノ統制組合ト同ジヤウニ、協同組合ガ其ノ配給機關ニ指定サレルト云フ場合ガ相當ニアラウカト思ヒマス、其ノ場合合ニハ大體ニ於キマシテ今後モ統制ヲ繼續致シマス物資、例へバ鐵維製品トシマスル業者ガ作ツテ居リマスル協同組合、此ノ協同組合ヲ配給統制「ルート」ノ中ノ一ツノ機關ト致シテ、指定ヲ致シマシテ、生産者カラ消費者ニ至ルマデノ配給徑路ニ於キマシテ、ソレ等ノ協同組合ヲ活用シテ行ク、斯ウ云ナヤウナコトガ今後モ繼續サレルモノト考ヘテ居リマス、其ノ場合ニヤハリ統制組合ノヤウニ強制加入テハゴザイマセヌノデ、「アウト・サイダー」ト云フ問題モ出テ參リマルガ、是ハ結局其ノ組合ノ實力ニ依リマシテ、「アウト・サイダー」ヲソコニ引張ツテ行クト云フ以外ニ方法ハナカラウカト考ヘテ居リマルガ、大體ニ於キマシテ組合ヲ指定致シマスル場合ニハ、其ノ組合ニ賽チヲ渡シマシテ、其ノ組合ガ其ノ配分ヲ行ツテ行クト云フコトニナリマスルノデ、自然「アウト・サイダー」ノ力ハ弱クナツテ參リマシテ、組合ニ加入シナケレバ物ガ貰ヘナイト云フ事態ガ起ツテ來ル場合モ豫想サレマスルノデ、事實上問題ハ解決サレルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デゴ

○井田委員 今ノ配給ノ機關デゴザイ  
マスルガ、私ノ御伺ヒシタイノハ、假  
ニ一本ノ統制組合ガ廢止ニナリマシ  
テ、脱退、加入ノ事由ナ協同組合トナ  
リマスレバ、東京トカ、大阪トカ、横  
濱ト云フヤツナ所ニ、同じ業種ノ協同  
組合ガ四ツ乃至五ツ出来ル、斯ウ云フ  
場合ニ此ノ五ツナラ五ツ出来タ協同組  
合ニ對シテ、同一ニ指定ヲスルノカ、  
或ハ其ノ一ツヲ指定シテ、他ノ四ツヲ  
リ五ツノ協同組合ト云フモノハドウ云  
フ取扱ヲ受ケルカ、斯ウ云フ點デゴザ  
イマス

○小出政府委員 御尋ネノ同一ノ地圖  
内ニ、同ジ業種デ以テ各種ノ組合ガ四  
ツモ五ツモ出來ルト云フ場合デゴザイ  
マスルガ、協同組合ハ申スマダセモナ  
ク、利害關係ノ密接ナ業者ノ方々ガ、  
全ク自由ナ結合ニ依リマシテ組合ヲ作  
ル譯デアリマスルノデ、勿論サウ云フ  
風ナ四ツモ五ツモ同ジヤウナ組合ガ出  
來ルト云フ場合ガ、當然豫想セラレル  
譯デゴザイマスルガ、少クトモ配給統  
制ヲ今後モ繼續シヨウト云フ重要物  
資、或ハ國民生活必需品等ニ付キマシ  
テハ、其ノ配給統制ノ完璧ヲ期スル上  
カラ申シマスレバ、同じ地區内ニ多數  
ノ組合ガアリマシテ、ソレ等ノモノヲ  
ソレム、指定ヲスルト云フコトハ、極メ  
テ配給統制上望マシクナイ形態デアラ  
ウト考ヘマス、併シサウカト申シマシ  
テ、其ノ申ノ一ツノ組合ダケヲ取上げ  
マシテ之ヲ指定スルト云フコトニナリ  
マスト、又其ノ間ニ色々ノ弊害モ生ジ  
マスノデ、サウ云フ鼠ナ場合ニ於キマ  
シテハ、出來ルダケ各種ノ組員ヲ綜合  
致シマシタ聯合會ヲ作ルトカ、或ハ別  
個ニ其處ニ任意団體ヲ結成致シマシ

テ、其ノモノヲ配給統制機關トシテ指  
定スル、斯ウ云フヤウナコトニナラウ  
カト考ヘテ居リマス  
○井田委員 次ニ戰災ヲ被ツタ中小ノ  
工場デゴザイマスガ、過日資料ヲ頂戴  
シタノハ昭和十七年デ、マダ出來ず居  
ラスト云フヤウナ御詫デアツタ、戰災  
カラ一年有半ニナルノデスガ、大體諸  
工省當局デハ此ノ資料ノ何「バーイン  
ト」位ガ戰災ヲ被ツテ居ルカ、其ノ戰  
災ヲ被ツテ居ル工場ノ復興狀態、斯ウ  
云フコトガ大體デ結構デス、正確ナ數  
デナクテ結構デスガ、分リマンタラ  
寸御聽カセ願イタノデアリマス  
○小出政府委員 御手許ニ配付致シマ  
シタ工場ノ統計ハ、大體ニ於キシテ  
ハ昭和十七年ノ狀況マテシカ分ツア居  
リマセヌ、御承知ノヤウニ商工省デ行  
ツテ居リマスル工場統計表ト云フモノ  
ノ集計ガ、全國的ニ出來テ居リマスノ  
ガ昭和十七年マテデアリマシタカ爲  
ニ、洵ニ古イ資料デ恐縮デゴザイマス  
ガ、昭和十七年末マデノ統計ヲ御示シ  
致シタヤウナ謂デゴガイナス、御指摘  
ノヤウニ終戦後ニ於キマシテモ、急速  
ニ各地方ノ地方商工局ナリ、或ハ府縣  
廳ヲ督轄致シマシテ、各地方別ノ組合  
ナリ、或ハ工場ヲ通ジマシテ、罹災ノ  
狀況等フ調査致シテ居ルノデアリマス  
ガ、今迄全國的ニ正確ナル集計ガ出來  
テ居ナイノハ泡ニ申譯ナイト存ジマス、  
唯現在マテニ大體分ツテ居リマスルノ  
ハ、工業關係ノ組合ヲ通ジマシテ、組  
合ノ中ニ戰災ヲ受ケタ組合ガドノ位ア  
ルカト云フコトヲ、大體組合別ニ調査  
致シマシタ集計ニ依リマスト、全國ノ  
工業關係ノ組合ノ中デ、二七%ト云フ  
モノガ戰災ヲ被ツテ居リマス、隨ヒマ  
シテ是カラ推計致シマシテ、大體三割

○井田委員 是ハ商工當局ノ統計ヲ見  
ナケレバ判斷ノ出來ナイ問題デスガ、  
此ノ中小工業ノ振興、復興ニ付キマシ  
テ、勿論今後ノ日本ノ產業ト云々モノ  
ハ、中小工業ヲ樞軸トシテ行クノダト  
云フコトハ、ハツキリシテ居ルノデアリ  
マスガ、中小工業ノ復興振興ト云ブコ  
トヲ、ドノ程度アデ商工當局ハヤツテ  
居ルノカ、戰時統制ノ時ニ一ヶ月ノ操  
業能力ヲ持ツテ居リナガラ、十日間シ  
カ資材ガ間ニ合ハナイデ、十日間仕事  
ヲシテ二十日休ンダト云フコトガ、到  
ル處ニアツタノデアリマスガ、今後中  
小工業ヲ無暗ヤタラニ復興サシテ、ソ  
レニ伴フ資材ガナケレバ、ヤハリ斯ウ  
云ツタヤウナコトガ起ギテ來ルノデハ  
ナイカト我々ハ心配スルノデアリマ  
ス、此ノ物資需給調整整法ニ依ツテ生産  
セレタ所ノ素材ト、中小工業者方配給  
ヲ受ゲル所ノ素材ト云フモノノ睨ミ合  
ヒ、又之ニ對スル商工當局ガ、ドウ云  
フ所デ以テ練ヲ引イテ、今云「戰時ノ  
統制ノヘマフヤラヌデ、之ヲ推進シテ  
行ケルカト云フヤウナ方針ト、又數字  
ニ依ツテ御調べガアリマシタラ、ソレ  
ヲ云フヤウナ、具體的ノ計畫ヲ持ツベ  
ルト云フ根本方針ノ下ニ進ンデ居ル譯  
度ムデ、戰前ノ何「ペーセント」、或  
ハ戰前ノ何倍ト云フ所マテ復活サセル  
ト云フヤウナ、具體的ノ計畫ヲ持ツベ  
キデハナイト云フ御話デゴザイマス  
ガ、出來ルダケ計畫性ノアル產業復興  
計畫ト申シマスカ、經濟復興計畫ヲ制

業ヲ其ノ中ノ具體的ノ一環ト致シマシ  
テ考へタゞ、斯様ニ思ツテ居ル譯デゴ  
ザイマス、只今ノ所差當リ専小工業ト  
云フ面ダケワ取上ゲマシテ、之ヲ全體  
ノ產業カラ切離シマシテ、具體的ナ計  
畫ヲ決定スルト云フコトハ非常ニ困難  
デゴザイマシテ、中小工業ノ問題ト云  
モノハ、申スマデモナク全體ノ經濟再  
建計畫ノ一部分デアリマスシ、又其ノ  
間ニ勞働問題、或ハ社會政策ノ面ト  
モ、相互ニ密接ナ關係ヲ持ツテ居リマ  
スル關係上、先づ經濟安定本部ニ於キ  
マシテ、全體ノ經濟復興計畫ノ基本政  
策ヲ立テマシテ、先般モ御話申上ゲマ  
シタヤウニ、既ニ中小工業對策委員會  
ヲ安定本部ニ於キマシテモ設置セラレ  
タ譯デゴザイマスガ、ソレ等ノ委員會  
ニ於キマシテ全體ノ基本計畫ヲ樹立致  
シマシテ、其ノ基本計畫ニ副フヤウ  
ニ、中小工業ノ振興ヲ圖ツテ行クト云  
フ風ナ順序ヲ只今進ンデ居リマス、隨  
ヒマシテ今直チニ、例へば業種別ニ全  
體ノ設備ヲ何處マデ持ツテ行タルカ、  
或ハ生產額ヲドノ邊マデデ抑ヘルト云  
フ風ナ計畫ハ、現在ノ所ハマダ立ツテ  
居ナイヤウナ狀況デゴザイマスガ、サ  
ウ云フ風ナ粗ヒテ以テ進ンデ居ル譯デ  
ゴザイマス、勿論是ハ基本計畫デア  
リマシテ、其ノ間時々刻々起ソテ參  
リマスル應急措置ト致シマシテハ、只  
今行ツテ居リマスル物資ノ需給計畫  
毎月作ツテ居リマスル石炭ノ配炭計畫  
ヲ中心ト致シマシテ、ソレカラ起シテ  
參リマスル各物資別ノ需給計畫ヲ、商  
工省ニ於テ毎月立案實施致シテ居リマ  
スガ、是等ノ物資ノ需給狀況ト睨ミ合  
セマシテ、新シイ中小工業ノ復興振興  
セ申請ガアツタヤウナ場合ニ於キマシ

テヘ、ソレ等ノ資材ノ面ト睨ミ合セマシテ——徒ニ設備、造ツタガ資材ガナ  
シテ云フ、風ナ、戰時中屢々行ハレマシテ、タヤウナ弊害ニ陥ラオイヤウニ注意致  
シマシテ、資材ノ状況ガ斯ウ云フヤダ、ナ工合デアルカラ、其ノ見透シヲ十分  
持ツタ上デ計畫ヲ作ツテ貰ヒタイ、斯ウ云フ、風ニ業者ノ方ニモ、内容ヲザク  
クバランニ御禱ヲ致シマシテ御相談ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス  
○井田委員 ソレ一ツ御伺ヒシタイノ如ク、  
ハ、今後商工當局ガ營業ノ面ニ於テノ協同組  
間ノ調査ヲ必要トスルカ、或ハ意見ヲ  
取入レルトカ、或ハ價格ノ面、出來タ  
物ノ色々ノ面ニ於テ、商工當局ガ對象  
トスル民間團體トシテハ、此ノ協同組  
合ヲ重點的ニヤルノカ、或ハ又今言フ  
聯合會トカ、或ハ別個ナ社團法人ガ此  
ノ協同組合ノ上ニ出來ル、斯ウ云フ場  
合ニ之ヲ對象スルノカ、ソレヲ一寸  
承リタイト思ヒマス

○小出政府委員 今後政府ガ色々ノ經  
濟政策ナリ社會政策ヲ立案シテ參りマ  
ス上ニ於キマシテ、廣ク民間ノ、特ニ  
専門ノ業界ノ方々ノ經驗ニ基ク御意見  
ヲ承ルト云フコトハ、勿論出來ルダケン  
其ノ線ニ沿ツテ參りタイト考ヘテ居ル譯  
テアリマス、特ニ中小商工業ノ問題  
ニ關聯致シマシテハ、廣ク業界ノ方々  
ノ御意見ヲ採り入レテ、寧ロ其ノ御意見  
見ニ從ツテ政府ノ施策ヲ立案シテ行キ  
タイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯テアリマス  
ルガ、其ノ場合ニ於キマシテ然ラバド  
ウ云フ風ナ業界ノ團體ノ方ノ御意見ヲ  
聽クカト云フコトニ付キマシテハ、  
ソレハ、業種別ニ、専門の業界ノ方々  
居ラレルト思ヒマスルガ、取敢ヌ商工  
協同組合法ニ依リマシテ出來マスル商  
工協同組合中央會ト云フモノ——現在

商工組合中央會ガザイマスルガ、之ニ代リマシテ、商工協同組合中央會ト云フ、協同組合ノ全國的ナ指導連絡組織也。此ノ中央會ナリ、或ハ其ノ中央會ト云フ、各府縣ノ支部ノ意見ト云フモノガ、先づ協同組合ノ全體ヲ代表スル意見ト致シマシテ、最モ今後慇重スベキ問題ガ出來アラト思ヒマス、其ノ外勿論各地域毎ニハ、今出來ツ、アリマスル社法人ノ商工會議所ニアリマスルトカ、或ハ其ノ他色々ノ任意的ナ團體ガ出來ル譯デゴザイマスルガ、ソレ等ノ各方面ノ意見ヲ結合的ニ採り入レテ行クトハ、申スマデモナイノデアリマス、中デモ商工協同組合中央會ト云フヤウナ團體ノ御意見ヲ相當ニ尊重テ參リタク、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス。

○井田委員 私ノ質問ハ是テ終リマス。

○西村委員長代理 政府委員ニ希望スガ、今井田委員カラ要求サレタ時、災工場ノ統計、是ハ必要ダト思フノ不スガ、ドウデスカ、本委員會ノ終了マニニ調査出来マセダカ

○小出政府委員 工場別ノ全部ノモノハ不可能ダト思ヒマス、大體ノ所デ御勘辨願ヘマスレバ……

○西村(樂)委員長代理 大體ノ所デ出来ルダケ早ク出シテ下サイ——山田善三君

○山田(善)委員 厚生大臣ノオイデザ見マセウ

○西村(樂)委員 本業ハ主トシテ中小商工業者ヲ對象トシテ編マレタモノハ、老ヘルノデアリマスガ、戰前ニ於テ、我が國ノ中小商工業、殊ニ小賣商業者

デアリマス、是等ハ上カラハ大資本ノ進出ニ依ル「デパート」ノ壓力ヲ受ケテ、非常ニ發展ヲ阻得サレテ居ツタノデアリマス、更ニ又下カラハ消費組合ソ進出ニ依リマシテ、其ノ分野ヲ狹メラレテ、兩方カラ逼ミ壓ニナツタ形デアリマシテ、戰前既ニ日本ノ小賣商ハ非常ナ苦境ニ喘イデ居ツタト考ヘテ居リマス、當時反寢運動ナドガ猛烈ニ展開セラレ、且又小賣商ノ救濟ニ付テハ、相當ニ政府モ關心ヲ持ツテ居ラレタト考ヘルノデアリマス、之ヲ世界各國ノ例ニ徴シマシテモ、日本ノ小賣商ハ其ノ數ニ於テ僅ニ多過ギルト言ハレテ居タノデアリマス、然ルニ戰爭ガ始マツテ此ノ方、段々此ノ小賣商ノ分野ハ一層狹メラレテ參リマシテ、遂ニ大幅ノ企業整理トナリ、只今ノ狀態デハ戰災其ノ他ノ故障モ簇出致シマツテ、殆ド四分五裂ノ状態ニナツテ居ルト思ヒマス、ソレガ終戰後多少時ヘテ居ツタ資金モ殆ド食ヒ潰シテシマツテ、元ノ古巣ニ歸ツテハ見タガ仕事ハナイ家セナケレバ資金モナシ、資材モ手ニ入テヌト云フヤウチコトカラ、相當數闇商人ニ顛落シタ者モアルデアラウト者ハマス、然ルニ一方外地ヨリノ引揚者ハ日々増加シテ參リマシテ、外地デ可ナリ大ギナ商業ヲ營ンデ居ツタ人々モ、丸裸デ歸シテ見レバ仕事ガナイ、是等方先づ第一ニ食ヒ付キ易イノハ小賣商デアリマス、物ノ生産ヲヤルノデアリマズ、隨テ斯ウ云フ人々ガ歸早イ商販ヘ小賣商デアル、是ハ極ク小サヤカナ資金ヲ以テシテモ、風呂敷一ツヲ持ツテ闇商人ニナルコトモ出來ルノデアリマス、隨テ斯ウ云フ人々ガ歸ツテ參リマシテ、相當數又此ノ闇商人ナリ小賣商イ一群ニ加ハツテ居ルロト

デアラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ風ナ御尋ネ  
フコトカラ考ヘマシテ、將來更ニ此ノ  
小賣商ノ數ト云フモノハ、此ノ儘放ツ  
テ置ケバ相當數增加スルデアラウト考  
ヘラレルノデアリマス、然ルニ戰前ニ  
於テスラ既ニ其ノ數ガ過剰デアツテ、  
オ互ヒニ共食ヒヲシテ、其ノ生活ニ端  
イデ居ツタ狀態デアルニ拘ラズ、更ニ  
昨今ノ狀況デハ非常ナ惡條件ガ增加致  
シテ居ルノデアリマス、又將來ニ於テ  
ハ更ニ此ノ惡條件ガ增加スルノデハナ  
イカ、數ハ益々殖エ、資金ハ戰爭以前  
ニ比ベテ思フヤウニ行カナクナリ、而  
モ取扱フ物資ハ寧ロ少クナツテ居ルト  
云ヤウナコトデ、段々惡イ條件ガ増  
加シテ來ルト云フ、ト想像出來ルノ  
デアリマス、是等ノ惡條件下ニアル小賣  
商ヲ一體維持シ得ルカ、救濟シ得ルカ  
賣商ヲ、今回御提案ニナリマシタ單ナ  
ル商工協同組合ト云フヤウナ一本ノ組  
合ヲ作ツテ、ソレデ此ノ困難ナル小賣  
業者ヲ一體維持シ得ルカ、救濟シ得ルカ  
ト云フコトヲ私ハ非常ニ憂ブルノデア  
リマス、之ニ依ツテ資金ノ調達ヲ圖  
リ、或ハ共同施設ヲナスト云フヤウ  
見マスルト、總對數ニ於テハ東モ角總  
體的ニ特ニ工業生產、生產人口ノ比  
率ガ、配給人口ト申シマスルカ、小賣  
業者ノ人口ト云フモノガ、生產面ニ携  
ト云フコトヲ私ハ非常ニ憂ブルノデア  
リマス、之ニ依ツテ資金ノ調達ヲ圖  
リ、或ハ共同施設ヲナスト云フヤウ  
思ヒマス、ナゼ斯ワ云フ販賣狀態ニ  
ツテ居ルカト云フコトニ付キマシテ  
テ、總體的ニ非常ニ過剰デアルト云フ  
コトハ、ハツキリ申オコトガ出來ルト  
云フモノヲヨニ受入レテ參リマス爲  
ニ、本當ノ小賣業者トシテノ全體ノ振興  
率ガ、配給人口ト申シマスルカ、小賣  
業者ノ人口ト云フモノガ、生產面ニ携  
ト云フコトヲ私ハ非常ニ憂ブルノデア  
リマス、之ニ依ツテ資金ノ調達ヲ圖  
リ、或ハ共同施設ヲナスト云フヤウ  
ス、特ニ我が國ノ商業ノ形態ガ、所謂  
政府ハ果シテ自信ガアルカ、日本ノ中  
小商業者ノ將來ニ對シテ、此ノ法一本  
デ之ヲ完全ニ救ヒ得テ、戰前以上ハ活  
況ヲ星シ得ルヤウニナンシ得ル自信ガア  
ルカ、サウ云フコトヲ先づ一ツ御同ヒ  
シタイト思ヒマス

○小出政府委員 只今ノ御尋ネハ、中  
小商工業者、特ニ商業者ノ振興ノ對策  
ト致シマシテ、商工協同組合法ニ依ル  
協同組合組織ト云フモノダケデハ、到  
底ソレ等ノ振興對策ヲ解決スルニハ不  
十分デハナカ、斯ウ云フ風ナ御尋ネ  
デアツタヤウニ考ヘルノデゴイザマス  
ガ、勿論政府ト致シマシテモ、此ノ協  
同組合組織ト云フモノガ、之ヲ以テ小  
賣業者ナリ、中小商工業者對策ノ全部  
デアルトハ考ヘテ居ナイ譯デゴザイマ  
ス、御話ノヤウニ戰前カラ戰後ヲ通ジ  
マシテ我ガ國特有ノ狀態ト致シマシ  
テ、一般ニ商業者、特ニ小賣業者ガ非  
常ニ多イ、總體的ニ其ノ數ハ非常ニ過  
剰デアルト云フコトハ、我ガ國特有ノ  
狀態ニアラウト思フノデアリマス、之  
ニ付キマシテハ、其ノ小賣業者ノ人口  
構成ニ於テ占メテ居リマスル數ハ、絕  
對數ニ於テ非常ニ多過ギルト云フコト  
ハ必ズシモ言ヘナインデゴザイマスル  
ガ、諸外國ノ人口構成ノ例カラ考ヘテ  
見マスルト、總對數ニ於テハ東モ角總  
體的ニ特ニ工業生產、生產人口ノ比  
率ガ、配給人口ト申シマスルカ、小賣  
業者ノ人口ト云フモノガ、生產面ニ携  
ト云フコトヲ私ハ非常ニ憂ブルノデア  
リマス、之ニ依ツテ資金ノ調達ヲ圖  
リ、或ハ共同施設ヲナスト云フヤウ  
思ヒマス、ナゼ斯ワ云フ販賣狀態ニ  
ツテ居ルカト云フコトニ付キマシテ  
テ、總體的ニ非常ニ過剰デアルト云フ  
コトハ、ハツキリ申オコトガ出來ルト  
云フモノヲヨニ受入レテ參リマス爲  
ニ、本當ノ小賣業者トシテノ全體ノ振興  
率ガ、配給人口ト申シマスルカ、小賣  
業者ノ人口ト云フモノガ、生產面ニ携  
ト云フコトヲ私ハ非常ニ憂ブルノデア  
リマス、之ニ依ツテ資金ノ調達ヲ圖  
リ、或ハ共同施設ヲナスト云フヤウ  
ス、特ニ我が國ノ商業ノ形態ガ、所謂  
政府ハ果シテ自信ガアルカ、日本ノ中  
小商業者ノ將來ニ對シテ、此ノ法一本  
デ之ヲ完全ニ救ヒ得テ、戰前以上ハ活  
況ヲ星シ得ルヤウニナンシ得ル自信ガア  
ルカ、サウ云フコトヲ先づ一ツ御同ヒ  
シタイト思ヒマス

十分デハナカ、斯ウ云フ風ナ御尋ネ  
デアツタヤウニ考ヘルノデゴイザマス  
ガ、勿論政府ト致シマシテモ、此ノ協  
同組合組織ト云フモノガ、之ヲ以テ小  
賣業者ナリ、中小商工業者對策ノ全部  
デアルトハ考ヘテ居ナイ譯デゴザイマ  
ス、御話ノヤウニ戰前カラ戰後ヲ通ジ  
マシテ我ガ國特有ノ狀態ト致シマシ  
テ、一般ニ商業者、特ニ小賣業者ガ非  
常ニ多イ、總體的ニ其ノ數ハ非常ニ過  
剰デアルト云フコトハ、我ガ國特有ノ  
狀態ニアラウト思フノデアリマス、之  
ニ付キマシテハ、其ノ小賣業者ノ人口  
構成ニ於テ占メテ居リマスル數ハ、絕  
對數ニ於テ非常ニ多過ギルト云フコト  
ハ必ズシモ言ヘナインデゴザイマスル  
ガ、諸外國ノ人口構成ノ例カラ考ヘテ  
見マスルト、總對數ニ於テハ東モ角總  
體的ニ特ニ工業生產、生產人口ノ比  
率ガ、配給人口ト申シマスルカ、小賣  
業者ノ人口ト云フモノガ、生產面ニ携  
ト云フコトヲ私ハ非常ニ憂ブルノデア  
リマス、之ニ依ツテ資金ノ調達ヲ圖  
リ、或ハ共同施設ヲナスト云フヤウ  
思ヒマス、ナゼ斯ワ云フ販賣狀態ニ  
ツテ居ルカト云フコトニ付キマシテ  
テ、總體的ニ非常ニ過剰デアルト云フ  
コトハ、ハツキリ申オコトガ出來ルト  
云フモノヲヨニ受入レテ參リマス爲  
ニ、本當ノ小賣業者トシテノ全體ノ振興  
率ガ、配給人口ト申シマスルカ、小賣  
業者ノ人口ト云フモノガ、生產面ニ携  
ト云フコトヲ私ハ非常ニ憂ブルノデア  
リマス、之ニ依ツテ資金ノ調達ヲ圖  
リ、或ハ共同施設ヲナスト云フヤウ  
ス、特ニ我が國ノ商業ノ形態ガ、所謂  
政府ハ果シテ自信ガアルカ、日本ノ中  
小商業者ノ將來ニ對シテ、此ノ法一本  
デ之ヲ完全ニ救ヒ得テ、戰前以上ハ活  
況ヲ星シ得ルヤウニナンシ得ル自信ガア  
ルカ、サウ云フコトヲ先づ一ツ御同ヒ  
シタイト思ヒマス

○山田(善)委員 私モ實ハ左様ニ考ヘ  
テ、健全ナル小賣業者ト云フモノハ、  
常ニ一方ニ於テ不健全ナル小賣業者ト  
云フモノヲヨニ受入レテ參リマス爲  
ニ、本當ノ小賣業者トシテノ全體ノ振興  
率ガ、配給人口ト申シマスルカ、小賣  
業者ノ人口ト云フモノガ、生產面ニ携  
ト云フコトヲ私ハ非常ニ憂ブルノデア  
リマス、之ニ依ツテ資金ノ調達ヲ圖  
リ、或ハ共同施設ヲナスト云フヤウ  
ス、特ニ我が國ノ商業ノ形態ガ、所謂  
政府ハ果シテ自信ガアルカ、日本ノ中  
小商業者ノ將來ニ對シテ、此ノ法一本  
デ之ヲ完全ニ救ヒ得テ、戰前以上ハ活  
況ヲ星シ得ルヤウニナンシ得ル自信ガア  
ルカ、サウ云フコトヲ先づ一ツ御同ヒ  
シタイト思ヒマス

○小出政府委員 只今ノ御尋ネハ、中  
小商工業者、特ニ商業者ノ振興ノ對策  
ト致シマシテ、商工協同組合法ニ依ル  
協同組合組織ト云フモノダケデハ、到  
底ソレ等ノ振興對策ヲ解決スルニハ不  
十分デハナカ、斯ウ云フ風ナ御尋ネ  
デアツタヤウニ考ヘルノデゴイザマス  
ガ、勿論政府ト致シマシテモ、此ノ協  
同組合組織ト云フモノガ、之ヲ以テ小  
賣業者ナリ、中小商工業者對策ノ全部  
デアルトハ考ヘテ居ナイ譯デゴザイマ  
ス、御話ノヤウニ戰前カラ戰後ヲ通ジ  
マシテ我ガ國特有ノ狀態ト致シマシ  
テ、一般ニ商業者、特ニ小賣業者ガ非  
常ニ多イ、總體的ニ其ノ數ハ非常ニ過  
剰デアルト云フコトハ、我ガ國特有ノ  
狀態ニアラウト思フノデアリマス、之  
ニ付キマシテハ、其ノ小賣業者ノ人口  
構成ニ於テ占メテ居リマスル數ハ、絕  
對數ニ於テ非常ニ多過ギルト云フコト  
ハ必ズシモ言ヘナインデゴザイマスル  
ガ、諸外國ノ人口構成ノ例カラ考ヘテ  
見マスルト、總對數ニ於テハ東モ角總  
體的ニ特ニ工業生產、生產人口ノ比  
率ガ、配給人口ト申シマスルカ、小賣  
業者ノ人口ト云フモノガ、生產面ニ携  
ト云フコトヲ私ハ非常ニ憂ブルノデア  
リマス、之ニ依ツテ資金ノ調達ヲ圖  
リ、或ハ共同施設ヲナスト云フヤウ  
ス、特ニ我が國ノ商業ノ形態ガ、所謂  
政府ハ果シテ自信ガアルカ、日本ノ中  
小商業者ノ將來ニ對シテ、此ノ法一本  
デ之ヲ完全ニ救ヒ得テ、戰前以上ハ活  
況ヲ星シ得ルヤウニナンシ得ル自信ガア  
ルカ、サウ云フコトヲ先づ一ツ御同ヒ  
シタイト思ヒマス

ルト云フコトモ考へラレル譯アリマスガ、之ニ付キマサチハ結局經濟的ナ進出デアリマスル以上ハ、特別ニ之ヲ抑制スルトカ、或ハ「ニントロール」スルトカ云フ方途ハナイ譯アリマシテ、結局日本人自身ノ手ニ於テ、オ互ノ實力ヲ備ヘマシテ之ニ對處シテ行クト云フコト以外ニハ方法ハナイノデハナイカ、斯様ニ考へテ居リマスガ、現在ノ所ハ全體トシテ餘程深刻ナ問題ニナル處ガアルト云フ國ニハ、必ズシモノ樂觀スル譯デハゴザイマセヌガ、ソレ程重大ニ危惧スル程ノ事態ニハマダ立至ツテ居ナイノデハナイカト考へテ居ル譯デアリマス

○山田(善)委員 次ニ「デパート」ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、先程モ申上ゲマシタヤウニ、「デパート」ガ大資本ヲ擁シテ中小商業者ヲ壓迫シテ居タト云フ事實ハ、相當ニ深刻ナルモノガアツタノデアリマス、ソレガ戰時ニナリマシテ色々ナ統制ガ強化サレルニ從ヒ、段々物ガ窮屈ニナリマシタ、所ガ政府ハ「デパート」ダケヲ特殊ナ團體扱ヒニシテ、物ノ配給ヲ擔任セシメタヤウニ存ジマス、是ハ相當ニ強力ヲ持ツテ居リマシテ、今後ニ於テモ更ニ別ナ形態ニ於テ、「デパート」ハ相當ナ力ヲ發揮スルデアラウト思ヒマスガ、從來執ラレタヤウナ行キ方デ「デパート」ダケニ別個ノ團體デモ作ラセテ、ソレニ物ノ配給ナリ、生産ヲ指定サレル意思ガアルカドウカ、斯ワ云フコトヲ御シテハ、御承知ノヤウニ從來カラ百貨ニモ、サウ云フコトヲ擔任セシメル意思ガアルカドウカ、斯ワ云フコトヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

店法ト云フ特別ノ法律ガ出來テ居リマシテ、此ノ百貨店法ニ基キマシテ百貨店組合ト云フ、一種ノ統制組合のナ組合ガ出來テ居リマス、此ノ百貨店組合ノ自治的ナ協定ニ依リマシテ、百貨店内部ノ「ボントロール」ハ出來ルヤウニスルノデ、從來カラ百貨店組合ノ組合員ニ付キマシテハ、一般ノ組合員トハ別個ニ、配給ナリ生産ノ場合ニ於テ、特別ナ「ルート」トシテ考ヘテ居ツタノデゴザイマスルガ、今後ニ於テモ大體百貨店ハ百貨店トシテ之ヲ繩メマシテ、別個ノ團體トシテ之ヲ活用シテ行クト云フコトガ、實際上ノ配給ノ統制ノ上ニ於テ、非常ニ便宜デハナイカト考ヘルノデアリマス、例へバ百貨店ヲ一般ノ組合ノ組合員ノ中ニ入レマカルト云フコトニリマシテ、百貨店自體トシテモ非常ニ不便デアリマスルシ、又「般ノ組合カラ申シマシテモ、非常ニ經營形態ナリ規模ノ違フモノガ、一緒ニ入ヅテ來ルコトニ依リマシテ、却テ全體ノ調和ガ亂レルト云フヤウナコトモゴザイマシテ、原則的ニハ、百貨店組合ヲ別個ニ、配給團體トシテ之ヲ動カシテ行クト云フヤウニ考ヘテ居リマス、併シナガラソレハ、地方ノ實情ニ依ツテ、百貨店ガ一般ノ生産必需品ノ小賣ノ組合ノ中ニ入ツテ居ルト云フ例モアリマシテ、結局ソレハ、原則デアリマシタガ、例へバ九州ノ福岡縣等ニ於テハ、百貨店ガ一般ノ生

一般ノ組合ニ入ツテ差支ヘナイ、入ツタ方ガ便利デアルト云フ場合ニハ、ソレヲ入レルコトヲ決シテ妨ゲル譯ズハザイマセヌガ、原則トシテハ一般ノ小賣業者ト百貨店ト云フモノハ、ヤハリ一應別個ノ形ニシテ行ク方ガ便利デハナイカト考ヘテ居ル譯デアリマス。○山田(善)委員 次ニ主トシテ都市ニ於ケル消費組合ノ問題デアリマス、是ハ從來産業組合法ニ依ツテ設立セラレタモノニアリマシテ、特ニ消費組合ト名ノ付クモノハ、産業組合中ノ購買事業ダケヲ行フ購買組合トシテ存置シテ居ル、所ガ其ノ産業組合法ナルモノハ、御承知ノヤウニ元々農樹ニ其ノ源ヲ發シタノデアリマスガ、其ノ母體アル農村ノ組合ハ、農業會法ニ入レラレマシテ其ノ方ニ移行シテシマヒマシタシ、今残ツテ居リマスル産業組合法ト云フモノハ、全クアルカナキカノ如キ存在デアルヤウニ——戰時中ハ色々ナ面カラ見テ、産業組合ガ不適當デアルト云フヤウナコトカラ、相當ニ經營難ニ陥ツタモノガアリマシタ、解散シタモノガ多數デアツタ、只今残ツテ居リマスル産業組合ト云フモノハ、極メテ少數デハナイカト思ヒマス、併シニ似タ購買組織ト云フヤウナモノハ、各工場或ハ鐵山等ニ多數ニ設ケラレテ居リマスノデ、是ト同ジ機能ヲ發揮シテ居ル任意團體ハ多數ニアルト思ヒマス、併シソレハ全ク法的根據ヲ失ツテ居ルト思ヒマス、然ルニ今後社會主義經濟ガ強ク強調サレルヤウニナリマスレバ、必ず此ノ消費者團體タル消費組合ノ機能ト云フモノハ強化サレネバナラヌ、殊ニ特定ノ物資ニ於キマシテ、私ナドハ重要食糧品ノ如キハ此ノ購買組織テ配給スルガ一番宜シイト考ヘテ

居ル一人デアリマスガ、サウナツテ参  
リマスト、之ニ何等カノ法的根據ヲ與  
ヘル必要ガアリハセヌカ、今ノ産業組  
合法テ決メテ居ツタノデハ、極メテ弱い  
モノデアリ、又不備ナモノデアルト考  
ヘラレル譯デアリマス、殊ニ今後ノ消  
費經濟ヲ合理化スルト云フ面カラ申  
マシテモ、此ノ消費組合ノ發展ト云フ  
コトハ、相當ニ重ク考ヘラレテ宜イノ  
デハナイカ、出來ルナラバ消費組合注  
ト云ツタヤウナ單行法デモ作ツテ欲キ  
タイト考ヘルノデアリマスガ、政府ノ  
御所見ヲ伺ヒマス

參リマスルノデ、是等ニ付キマシテハ  
色々農林、商工、厚生各省ノ間ニ於テ、  
目下研究ハ致シテ居リマスルケレド  
モ、只今ノ所、特別ニ法制ヲ直チニ設  
ケルト云フ風ナ所マデハ進ンデ居ナイ  
状況アリマス

○山田(善)委員 ソレニ付テモウ一ツ  
御尋ネシタノイデアリマスガ、物資需  
給調整法ニ依ル所謂民主的ニ組織サレ  
タ團體ト云フユトデ、此ノ合法的ナ產  
業組合ト云フモノヲ、配給機關トシテ  
御指定ニナル御意思ガアリマスカドウ  
カ、ソレヲモウ一點伺ヒタイ

○小出政府委員 臨時物資需給調整法  
デ言ツテ居リマスル民主的ニ組織サレ  
マシタ團體ト云フ解釋デゴザイマスル  
ガ、是ハ商工協同組合法ニ依ル協同組  
合ノ如キハ、其ノ條件ヲ十分ニ備ヘテ  
居ルモノト考ヘマスルシ、其ノ條件ノ  
ミヲ考ヘマスルト云フト、產業組合法  
ニ依ル一般ノ產業組合ト云フモノモ、  
ヤハリ協同組合ノ一種デアリマシテ、  
民主的ニ組織サレタ團體ト云フ言葉ノ  
中ニハ入ラウカト考ヘマスルガ、實際  
問題ト致シマシテ、臨時物資需給調整  
法ニ依リマシテ指定ヲ受ケマスル團體  
ハ、所謂物資ノ割當團體デアリマシテ、  
而モ生産者ヲ中心トシタ團體、生産者  
ガ自分ノ所生産ヲ致シマスルニ必要  
ナ生産資材ノ割當ヲスル團體ト云フ風  
ナ場合デアリマシテ、隨ヒマシテ例ヘ  
バ鐵鋼ノ生産ヲ致シマスル團體ガ、其  
ノ鐵鋼ノ生産ニ必要ナ石炭ノ割當ヲス  
ル爲ニ、其ノ團體ガ指定ヲ受ケルト云  
ブ風ナ場合デアリマシテ、全國的ナ生  
産者團體、工業生産ノ團體ト云フモノ  
ガ大體中心ニナリマスル關係上、實際  
問題ト致シマシテハ產業組合法指定ヲ  
受ケル場合ハ先づナインオデハナイカ、

○山田(善)委員 ソコマデモウ少シ専  
ヒタノアリマスガ、生産ノ場合ニ  
於テハサウデアリマスガ、上部組織ニ  
於テ一般的ニ配給ヲ受ケ、生産サレタ  
モノヲ段々下部ノ其ノ組合員ニ配給シ  
テ参リマスト、一番最後ニハ組合員  
箇々ニソレガ配給サレ、サウ云フコ  
トニナルノデヤナカ、サウ云フ場合  
ニ結局其ノ組合員ニアラザレバ其ノ配  
給ヲ受ケラレナイ、斯ウ云フ結果ニ結  
局ナツテ來ルト思フノデス、是ハ配給  
ノ面アリマスカラ生産トハ關係ハア  
リマセヌガ、併シ其ノ統制サレタサウ  
云フ製品ノ配給ニ付テモ、相當ニ規制  
サレ統制サレルト思ヒマス、サウ云フ  
場合ニ於テ大キナ配給機關ニ應其ノ  
配給物資ノ割當ヲサレテ、其ノ割當ヲ  
受ケタ大キナ全國的ナ配給團體ガ、更  
ニ其ノ下部組織タル箇々ノ組合員タル  
團體ニ配給シテ参リマスト、最後ニハ  
其ノ團體ヲ構成シテ居ル個人ニ物ガ配  
給サレル、其ノ個人ヲ通シ、組合員ヲ  
通シテ消費者ニ配給スルト云フコトニ  
カ、サウ云フ統制ヲ取扱フ團體ノ中ニ  
一ツノ消費團體トシテ加入ガ出來ルカ  
ドウカ、斯ウ云フコトヲモウ一つ御伺  
ヒシタイ

○小出政府委員 臨時物資需給調整法  
ニ依リマシテ、統制團體トシテ指定ヲ  
受ケマスル場合ニ付キマシテハ、先程  
申シマシタ所謂全國的ナ生産者團體  
ガ、其ノ生産資材ノ割當ヲスル爲ニ、  
團體トシテ指定ヲ受ケルト云フ場合ノ  
外ニ、今御話ノヤウシ現物ノ配給系統  
ト致シマシテ、其ノ配給系統ノ一環ト  
テ参リマスト、一番最後ニハ組合員  
箇々ニソレガ配給サレ、サウ云フコ  
トニナルノデヤナカ、サウ云フ場合  
ニ結局其ノ組合員ニアラザレバ其ノ配  
給ヲ受ケラレナイ、斯ウ云フ結果ニ結  
局ナツテ來ルト思フノデス、是ハ配給  
ノ面アリマスカラ生産トハ關係ハア  
リマセヌガ、併シ其ノ統制サレタサウ  
云フ製品ノ配給ニ付テモ、相當ニ規制  
サレ統制サレルト思ヒマス、サウ云フ  
場合ニ於テ大キナ配給機關ニ應其ノ  
配給物資ノ割當ヲサレテ、其ノ割當ヲ  
受ケタ大キナ全國的ナ配給團體ガ、更  
ニ其ノ下部組織タル箇々ノ組合員タル  
團體ニ配給シテ参リマスト、最後ニハ  
其ノ團體ヲ構成シテ居ル個人ニ物ガ配  
給サレル、其ノ個人ヲ通シ、組合員ヲ  
通シテ消費者ニ配給スルト云フコトニ  
カ、サウ云フ統制ヲ取扱フ團體ノ中ニ  
一ツノ消費團體トシテ加入ガ出來ルカ  
ドウカ、斯ウ云フコトヲモウ一つ御伺  
ヒシタイ

○山田(善)委員 分リマシタ、次ニ將  
來ノ生活必需物資、殊ニ重要產業ニ於  
テデアリマスガ、サウ云フモノノ生產  
ニ付テ、私ハ規格生産ト自由生產ト云  
フモノノ分野ヲハツキリ定メル必要  
ガアルト思フノデアリマス、殊ニ物資  
ガ限ラレテ居リ足りナイ時代ニ於チ  
ハ、特ニ之ヲハツキリシテ置キ必要ガ  
アルノデナナイカ、是ダケハドウシテ  
要ルト云フ最低限度ノモノハ規格生  
産ヲスル、而モ之ニ丸公ヲ付ケテ嚴重  
ナル統制ヲスル而シテ其統制ノ仕方  
ハ、餘リ種類ヲ多クシ錯雜ニナラナイ  
ヤウニシテ、極メテ簡明ニシテ實用的  
ノモノニ止メマシテ、餘裕ノアルモノ  
ハ任意生產、自由生產ト申シマスカ、  
サウ云フモノニシマシテ、之ヲ補ツテ  
行ク、斯ウ云フ本建デハツキリシタ  
ハナナイカト考ヘルノデアリマスガ、  
之ニ對スル御考ヘア承リタイ

○小林政府委員 只今御質問中ニアリ  
マジタ通リニ、一定ノ非常ニ足リナイ  
品物ニ對シテハ規格生産ヲヤリ、他ノ  
モノハ出來ルダケ自由生產ヲヤツテ、  
サウシテ其ノ競爭研究ニ依ツテ増產ヲ  
圖ルト云フコトハ、洵ニ結構ナコトデ  
アラウト思ヒマス、戰後物資ノ足ラ  
ガ、其ノ生産資材ノ割當ヲスル爲ニ、  
團體トシテ指定ヲ受ケルト云フ場合ノ  
外ニ、今御話ノヤウシ現物ノ配給系統  
ト致シマシテ、其ノ配給系統ノ一環ト  
テ参リマスト、一番最後ニハ組合員  
箇々ニソレガ配給サレ、サウ云フコ  
トニナルノデヤナカ、サウ云フ場合  
ニ結局其ノ組合員ニアラザレバ其ノ配  
給ヲ受ケラレナイ、斯ウ云フ結果ニ結  
局ナツテ來ルト思フノデス、是ハ配給  
ノ面アリマスカラ生産トハ關係ハア  
リマセヌガ、併シ其ノ統制サレタサウ  
云フ製品ノ配給ニ付テモ、相當ニ規制  
サレ統制サレルト思ヒマス、サウ云フ  
場合ニ於テ大キナ配給機關ニ應其ノ  
配給物資ノ割當ヲサレテ、其ノ割當ヲ  
受ケタ大キナ全國的ナ配給團體ガ、更  
ニ其ノ下部組織タル箇々ノ組合員タル  
團體ニ配給シテ参リマスト、最後ニハ  
其ノ團體ヲ構成シテ居ル個人ニ物ガ配  
給サレル、其ノ個人ヲ通シ、組合員ヲ  
通シテ消費者ニ配給スルト云フコトニ  
カ、サウ云フ統制ヲ取扱フ團體ノ中ニ  
一ツノ消費團體トシテ加入ガ出來ルカ  
ドウカ、斯ウ云フコトヲモウ一つ御伺  
ヒシタイ

○山田(善)委員 次ニ是ハ中小商業、  
論アリ得ル思ヒマス  
○山田(善)委員 分リマシタ、次ニ將  
來ノ生活必需物資、殊ニ重要產業ニ於  
テデアリマスガ、サウ云フモノノ生產  
ニ付テ、私ハ規格生産ト自由生產ト云  
フモノノ分野ヲハツキリ定メル必要  
ガアルト思フノデアリマス、殊ニ物資  
ガ限ラレテ居リ足りナイ時代ニ於チ  
ハ、特ニ之ヲハツキリシテ置キ必要ガ  
アルノデナナイカ、是ダケハドウシテ  
要ルト云フ最低限度ノモノハ規格生  
産ヲスル、而モ之ニ丸公ヲ付ケテ嚴重  
ナル統制ヲスル而シテ其統制ノ仕方  
ハ、餘リ種類ヲ多クシ錯雜ニナラナイ  
ヤウニシテ、極メテ簡明ニシテ實用的  
ノモノニ止メマシテ、餘裕ノアルモノ  
ハ任意生產、自由生產ト申シマスカ、  
サウ云フモノニシマシテ、之ヲ補ツテ  
行ク、斯ウ云フ本建デハツキリシタ  
ハナナイカト考ヘルノデアリマスガ、  
之ニ對スル御考ヘア承リタイ

○小林政府委員 只今御質問中ニアリ  
マジタ通リニ、一定ノ非常ニ足リナイ  
品物ニ對シテハ規格生産ヲヤリ、他ノ  
モノハ出來ルダケ自由生產ヲヤツテ、  
サウシテ其ノ競爭研究ニ依ツテ増產ヲ  
圖ルト云フコトハ、洵ニ結構ナコトデ  
アラウト思ヒマス、戰後物資ノ足ラ  
ガ、其ノ生産資材ノ割當ヲスル爲ニ、  
團體トシテ指定ヲ受ケルト云フ場合ノ  
外ニ、今御話ノヤウシ現物ノ配給系統  
ト致シマシテ、其ノ配給系統ノ一環ト  
テ参リマスト、一番最後ニハ組合員  
箇々ニソレガ配給サレ、サウ云フコ  
トニナルノデヤナカ、サウ云フ場合  
ニ結局其ノ組合員ニアラザレバ其ノ配  
給ヲ受ケラレナイ、斯ウ云フ結果ニ結  
局ナツテ來ルト思フノデス、是ハ配給  
ノ面アリマスカラ生産トハ關係ハア  
リマセヌガ、併シ其ノ統制サレタサウ  
云フ製品ノ配給ニ付テモ、相當ニ規制  
サレ統制サレルト思ヒマス、サウ云フ  
場合ニ於テ大キナ配給機關ニ應其ノ  
配給物資ノ割當ヲサレテ、其ノ割當ヲ  
受ケタ大キナ全國的ナ配給團體ガ、更  
ニ其ノ下部組織タル箇々ノ組合員タル  
團體ニ配給シテ参リマスト、最後ニハ  
其ノ團體ヲ構成シテ居ル個人ニ物ガ配  
給サレル、其ノ個人ヲ通シ、組合員ヲ  
通シテ消費者ニ配給スルト云フコトニ  
カ、サウ云フ統制ヲ取扱フ團體ノ中ニ  
一ツノ消費團體トシテ加入ガ出來ルカ  
ドウカ、斯ウ云フコトヲモウ一つ御伺  
ヒシタイ

○小林政府委員 我ガ國ガ戰爭ヲ拋棄  
致シマシテ、是カラ世界平和ノ爲ニ立  
派ナ文化國家トシテ立ダテ行クト云フ  
ケルト云フ二ツノ場合ガアルノデアリ  
マスガ、其ノ現物ノ配給系統ノ中ノ配  
給機關ト致シマシテ、御趣旨ノヤウニ我  
ハ農業會ト云フ風ナモノガ、其ノ配給  
系統ノ中ニ入ツテ來ルト云フコトハ勿  
論アリ得ル思ヒマス  
○山田(善)委員 分リマシタ、次ニ將  
來ノ生活必需物資、殊ニ重要產業ニ於  
テデアリマスガ、サウ云フモノノ生產  
ニ付テ、私ハ規格生産ト自由生產ト云  
フモノノ分野ヲハツキリ定メル必要  
ガアルト思フノデアリマス、殊ニ物資  
ガ限ラレテ居リ足りナイ時代ニ於チ  
ハ、特ニ之ヲハツキリシテ置キ必要ガ  
アルノデナナイカ、是ダケハドウシテ  
要ルト云フ最低限度ノモノハ規格生  
産ヲスル、而モ之ニ丸公ヲ付ケテ嚴重  
ナル統制ヲスル而シテ其統制ノ仕方  
ハ、餘リ種類ヲ多クシ錯雜ニナラナイ  
ヤウニシテ、極メテ簡明ニシテ實用的  
ノモノニ止メマシテ、餘裕ノアルモノ  
ハ任意生產、自由生產ト申シマスカ、  
サウ云フモノニシマシテ、之ヲ補ツテ  
行ク、斯ウ云フ本建デハツキリシタ  
ハナナイカト考ヘルノデアリマスガ、  
之ニ對スル御考ヘア承リタイ

○小林政府委員 只今御質問中ニアリ  
マジタ通リニ、一定ノ非常ニ足リナイ  
品物ニ對シテハ規格生産ヲヤリ、他ノ  
モノハ出來ルダケ自由生產ヲヤツテ、  
サウシテ其ノ競爭研究ニ依ツテ増產ヲ  
圖ルト云フコトハ、洵ニ結構ナコトデ  
アラウト思ヒマス、戰後物資ノ足ラ  
ガ、其ノ生産資材ノ割當ヲスル爲ニ、  
團體トシテ指定ヲ受ケルト云フ場合ノ  
外ニ、今御話ノヤウシ現物ノ配給系統  
ト致シマシテ、其ノ配給系統ノ一環ト  
テ参リマスト、一番最後ニハ組合員  
箇々ニソレガ配給サレ、サウ云フコ  
トニナルノデヤナカ、サウ云フ場合  
ニ結局其ノ組合員ニアラザレバ其ノ配  
給ヲ受ケラレナイ、斯ウ云フ結果ニ結  
局ナツテ來ルト思フノデス、是ハ配給  
ノ面アリマスカラ生産トハ關係ハア  
リマセヌガ、併シ其ノ統制サレタサウ  
云フ製品ノ配給ニ付テモ、相當ニ規制  
サレ統制サレルト思ヒマス、サウ云フ  
場合ニ於テ大キナ配給機關ニ應其ノ  
配給物資ノ割當ヲサレテ、其ノ割當ヲ  
受ケタ大キナ全國的ナ配給團體ガ、更  
ニ其ノ下部組織タル箇々ノ組合員タル  
團體ニ配給シテ参リマスト、最後ニハ  
其ノ團體ヲ構成シテ居ル個人ニ物ガ配  
給サレル、其ノ個人ヲ通シ、組合員ヲ  
通シテ消費者ニ配給スルト云フコトニ  
カ、サウ云フ統制ヲ取扱フ團體ノ中ニ  
一ツノ消費團體トシテ加入ガ出來ルカ  
ドウカ、斯ウ云フコトヲモウ一つ御伺  
ヒシタイ

○小出政府委員 只今御質問中ニアリ  
マジタ通リニ、一定ノ非常ニ足リナイ  
品物ニ對シテハ規格生産ヲヤリ、他ノ  
モノハ出來ルダケ自由生產ヲヤツテ、  
サウシテ其ノ競爭研究ニ依ツテ増產ヲ  
圖ルト云フコトハ、洵ニ結構ナコトデ  
アラウト思ヒマス、戰後物資ノ足ラ  
ガ、其ノ生産資材ノ割當ヲスル爲ニ、  
團體トシテ指定ヲ受ケルト云フ場合ノ  
外ニ、今御話ノヤウシ現物ノ配給系統  
ト致シマシテ、其ノ配給系統ノ一環ト  
テ参リマスト、一番最後ニハ組合員  
箇々ニソレガ配給サレ、サウ云フコ  
トニナルノデヤナカ、サウ云フ場合  
ニ結局其ノ組合員ニアラザレバ其ノ配  
給ヲ受ケラレナイ、斯ウ云フ結果ニ結  
局ナツテ來ルト思フノデス、是ハ配給  
ノ面アリマスカラ生産トハ關係ハア  
リマセヌガ、併シ其ノ統制サレタサウ  
云フ製品ノ配給ニ付テモ、相當ニ規制  
サレ統制サレルト思ヒマス、サウ云フ  
場合ニ於テ大キナ配給機關ニ應其ノ  
配給物資ノ割當ヲサレテ、其ノ割當ヲ  
受ケタ大キナ全國的ナ配給團體ガ、更  
ニ其ノ下部組織タル箇々ノ組合員タル  
團體ニ配給シテ参リマスト、最後ニハ  
其ノ團體ヲ構成シテ居ル個人ニ物ガ配  
給サレル、其ノ個人ヲ通シ、組合員ヲ  
通シテ消費者ニ配給スルト云フコトニ  
カ、サウ云フ統制ヲ取扱フ團體ノ中ニ  
一ツノ消費團體トシテ加入ガ出來ルカ  
ドウカ、斯ウ云フコトヲモウ一つ御伺  
ヒシタイ

○小出政府委員 只今御質問中ニアリ  
マジタ通リニ、一定ノ非常ニ足リナイ  
品物ニ對シテハ規格生産ヲヤリ、他ノ  
モノハ出來ルダケ自由生產ヲヤツテ、  
サウシテ其ノ競爭研究ニ依ツテ増產ヲ  
圖ルト云フコトハ、洵ニ結構ナコトデ  
アラウト思ヒマス、戰後物資ノ足ラ  
ガ、其ノ生産資材ノ割當ヲスル爲ニ、  
團體トシテ指定ヲ受ケルト云フ場合ノ  
外ニ、今御話ノヤウシ現物ノ配給系統  
ト致シマシテ、其ノ配給系統ノ一環ト  
テ参リマスト、一番最後ニハ組合員  
箇々ニソレガ配給サレ、サウ云フコ  
トニナルノデヤナカ、サウ云フ場合  
ニ結局其ノ組合員ニアラザレバ其ノ配  
給ヲ受ケラレナイ、斯ウ云フ結果ニ結  
局ナツテ來ルト思フノデス、是ハ配給  
ノ面アリマスカラ生産トハ關係ハア  
リマセヌガ、併シ其ノ統制サレタサウ  
云フ製品ノ配給ニ付テモ、相當ニ規制  
サレ統制サレルト思ヒマス、サウ云フ  
場合ニ於テ大キナ配給機關ニ應其ノ  
配給物資ノ割當ヲサレテ、其ノ割當ヲ  
受ケタ大キナ全國的ナ配給團體ガ、更  
ニ其ノ下部組織タル箇々ノ組合員タル  
團體ニ配給シテ参リマスト、最後ニハ  
其ノ團體ヲ構成シテ居ル個人ニ物ガ配  
給サレル、其ノ個人ヲ通シ、組合員ヲ  
通シテ消費者ニ配給スルト云フコトニ  
カ、サウ云フ統制ヲ取扱フ團體ノ中ニ  
一ツノ消費團體トシテ加入ガ出來ルカ  
ドウカ、斯ウ云フコトヲモウ一つ御伺  
ヒシタイ

當ニ非常な困難ト摩擦ヲ生ズル處ガア  
ルノデアリマス、コラハ實際斯ウ云  
フ組合ヲ運営致シマス上ニ於テ非常ニ  
大事ナコトデアリマス、之ヲ誤リマス  
ト折角作ツタ此ノ組合ガ寧ロ混亂ヲ來  
シテ、運営ノ圓滑ヲ期スルコトガ出來  
オイト云フコトニナルノデアリマス、  
此ノ定款ノ決メ方、或ハ加入ノ範囲、  
サウ云ツタヤウナコトハ全ク自主的ニ  
決メラルベキ性質ノモノト思ヒマス  
ガ、ソレガ果シテ宜コドアルカド  
ウカト云フコトヲ懸念スルモノニアリ  
マス、之ニ對スル御考ヘ如何デアリ  
マスカ

○小出政府委員 協同組合ノ本質カラ  
申シマシテ、協同組合ナアリマス以上  
ハ、物資需給調整法ニ付載メ居リマ  
ス所謂民主的ニ組織スベキ團體アリ  
マシテ、隨ヒマシテ其ノ組合員ノ資格  
ニ關スル定款ノ規定ニ於キマシテモ、  
別段法律ニ於テ斯ウ云フ風ナ決メ方ヲ  
シナケレバイケナイト云フ制限モゴザ  
イマセムン、勿論加入脱退ニ付キマシ  
テハ、組合員デアル資格ヲ持ツテ居リ  
マシテモ、組合ニ入ル入ラナイハ全ク  
任意デアル、ソレ等ノ點ニ於テ各箇々  
ノ業者ノ自主的ナ意思ニ任シテ居ルト云  
フ點ニ於キマシテ、本質的ニ民主的ナ  
團體ト云フコトニナルノデアリマスガ、  
御話ノヤウニ協同組合ノ組合員ノ資格  
ヲ、具體的ニ決メマスモノハ定款デア  
リマス、定款ニ於テ決メラレタ資格ヲ  
持ツテ居ル場合ニ於テ、初メテ組合員  
ニナルコトガ出來ルノデアリマスル  
ガ、其ノ場合ニ定款ノ決メ方ハ、全ク  
組合員トナル者ノ自由ナル意思ニ基イ  
テ決メル譯デアリマスカラ、何等ノ制  
限ガナイト言ヘバナイ譯デアリマス  
ガ、併シナガラ例ヘバ從來統制組合ノ

組合員デアツタ者ニ限ルトカ云フコトハ、非第ニコトヘテ、特殊ナ制限ヲ設ケルト云フコトハ、是ハ寧ロ協同組合ノ本質ニコトスルモノト考ヘラレマスノデ、非常ニコトヘテ、極メテ特殊ナ制限ヲ設ケルト云フコトハ、能デアラウト思ヒマズガ、極メテ特殊ナ、統制組合ノ組合員デアツタ者ニ限ルトカ、或ハ戰時中轉營業シタ者ハ、レナイトカ云フ風ナ、特殊ナ制限ヲ設ケルト云フコトハ、ケルト云フコトハ望マシクナイコトガ、ラウト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付キシテハ、行政官廳ガ組合ノ認可ヲ致マス場合ニ、其ノ定款ノ内容ヲ十分ニ審査致シマシテ、合理的ナモノノミコト、認可シテ行ク、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、ソレカラ物資ノ制限ヲ當ニ付キマシテモ、假ニ協同組合ガ當團體ト致シマシテ指定ヲ受ケマシク、場合ニ「セイダト・サイダー」トノ間に非常ニ付キマス場合ニ混亂摩擦ヲ生ジテ、到底物資ヲ割當團體トシテノ機能ヲ果タケル、價値ガナイト認メラレル組合ニ付キマスアルト認メラレルモノノミコト、指定期間内アリマス、若シ指定致シマジタ後ニ於テ、其ノ間ニ非常ニ混亂ヲ生ジテ居ル實力ト言フカ、其ノ機能ナリ知識ヲ十分調査致シマシテ、眞ニ適當ニアルト認メラレルモノノミコト、指定期間内アリマス、若シ指定致シマジタ場合ニハ、直チニ其ノ指定ヲ取消スト云フ矣モアル譯ニアリマスノデ、其ノ間ニカシテ、其ノ運営ガ皆ク行ナイト認メラレル事態ニ立至リマシタ場合ニハ、直チニ其ノ指定ヲ取消スト云フ矣シテ、適當ニ調整ガ出來ルノデハナシス、例ヘバ私モ幾ツモサウ云フ組合ヨカ、斯様ニ考ヘテ居リマス○山田(書)委員一應了解ガ出来ルノ

ナ、非常ニ苦シイ状態ニ立ツテ居レルコトニ付キマシテハ、我々モ十分ニ承知致シテ居ル積リデアリマス、ソコデ是等ノ戰時中ノ色々ノ負擔ヨ、此ノ際ドウ云フ風ニ處置スルカト云フコトニ付テハ、統制組合ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ一應今度ノ法律ガ施行ニナリマスルド、全部解散マス、隨ヒマシテ從來ノ統制組合ト今度ノ協同組合トハ一應切離シマシテ、致サナケレバナラヌコトニナリマスノ段階ニ入ル譯デアリマス、テ、當然ニ清算ノ色々ノ不便等ニ付テハ、出來ルダケ御輶旋ヲ申上タイト思ツテ居リマスルガ、新タニ協同組合ヲ作ル時ノ考ヘ方ト致シマシテ、ヤハリ從來ノ組合ノ持ツテ居リマス債務ト云フヤウナ關係ト、一應別個ノ見地カラ之ヲ組織スベキデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、勿論從來ノ統制組合ノ組合員ガ、大部分今度ノ新協同組合ヲ其ノ儘ノ形デ組織スルト云フ風ナ場合モアラウカト思ヒマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、其ノ債務ノ譲渡ニ付キマシテハ、何等カ金融措置等トノ關聯ニ於キマシテ、大蔵省ト相談致シマシテ、例ヘム從來ノ統制組合ガ持ツテ居リマス第二封鎖預金ヲ其ノ統制組合ガ大體其ノ儘ノ形ニ於テ、新シイ協同組合ニ變リマス場合ニ於キマシテハ、第二封鎖預金ヲ其ノ儘次ノ組合ニ第二封鎖預金トシテ引繼グ、斯ワ云フヤウナ途ヲ開ク、話合ヒガ出來タノデアリマス、併シナマス、サウ云フ風ナ措置ニ依リマシテ、戰時中ノ健次ノ組合ニ第二封鎖預金トシテ引繼グ、斯ワ云フヤウナ途ヲ開ク、話合ヒガ出來タノデアリマス、併シナマス、サウ云フ風ナ措置ニ依リマシテ、戰時中ノ健次ノ組合ニ第二封鎖預金トシテ引繼グ、斯ワ云フヤウナ途ヲ開ク、

云フコトハ、先程モ申シマシタヤウニ  
好マシクナイト考ヘテ居ル譯デアリマ  
ス、尙ホ、是等ニ點ニ付キマシテ、施  
行規則ニ書クカドウカト云フ問題デイ  
ザイマスガ、施行規則ハ主トシテ法律  
ニ基キマシテ、法律ノ委任ヲ受ケテ居  
リマス範囲ニ於テ、手續上ノ問題ヲ書  
クコトニナツテ居リマスノデ、施行規  
則ニハサウ云フ運用上ノ問題ニ付キマ  
シテハ、大體ニ於テ觸レナイ積リデゴ  
ザイマス、併シナガラ、施行規則ノ外  
ニ、例ヘバ次官通牒ト云フ風ナ通牒ニ  
依リマシテ、各地方長官ナリ、現地ノ  
長ニ對シマシテ、組合員ノ認可、定款  
ノ認可等ニ付キマシテノ運用ノ方針ヲ  
御示シマシタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次  
第アリマス



點ヲ考慮ニ入レマスト、今金ノ價格ヲ引上ゲルト云フロトハ、是ハ相當考慮シノモノワツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ依リマシテ二十二年度ノ豫算ト致シマシテモ、例ヘバ金ノ探鑿獎勵金デアリマストカ、精鍊所ノ施設ノ助成費、サウ云フ方面カラ金ノ増産ヲヤツテ行キタリ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、其ノ根本ノ金ノ價格ノ問題方解決シナインリハ、思ヒ切ツタ增産ハ不可能ダト考ヘテ居ル譯アリマス、ソレデ大體ノ目標ハ、本年ハ大體一・五・トーン位ノ生産ニナルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、是ハ主トシチ銅ニ附隨シテ出ル金デアリマス、アルノデアリマスガ、現在ノ生産カラ行キマスト、五、六千「トン」シカ出来鉛ノ如キハ今非啻ニ不足致シテ居マシテ、年間ノ所要量ガ、五、六萬「トン」は不足分ハ現在手持ノモノデ貯フトカ、或々又輸入ヲ懇請シナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居ルノ学アリマス、亞鉛三付キマシテバ、是ハ日本トシテハ他ノ金屬ニ比べマシテ比較的ニ惠マレテ居ルノデアリマス、其ノ他ノ金屬ト致シマシテハ、錫トカ「アンノ五、六萬「トン」ニ對シマシテ三、四萬「トン」ノモノハ生産出來ルト云フヤウチ事情ニアルノデアリマス、其ノ他マシテ、將來ノ問題ト致シマシテハ、

國外カラ輸入ヲ仰ガネバナテ、斯ニ考ヘテ居ルノデアリマス、全般ノ屬山ノ概況ハ、終戰後將來ノ見透シ云フモノガ分リマセタ事情トカ、ハ又食糧ガ極メテ逼迫シタト云フヤナ事情カラ、其ノ生産意欲ガ極度ニ下致シマシテ、大體鐵山ノ整備ヲスト云フヤウナ事情ニアツタノザアリスガ、終戰後半年以上經過致シマテ、サウ云フヤウナ需給狀況ヲ大體當モ付ケテ參リマシテ、又價格ノ間ニ致シマシテモ三月ニ相當大幅ノ引ヲ致シマシテ、前途ノ見透シ、「コト」ノ狀況ト云フヤウナモノガハツリ致シテ參リマシタノデ、現在トシハ相當生產意欲ガ高出テ參リマシテ、員ノ募集ニ著手シテ居ルト云フヤウ山モ相當見受ケラレルノデアリマス大體金屬山ノ現狀ハ其リヤウニナツ居ルノデザイマス

當ニ影響ヲ與ヘルゴトニナリマスノ  
デ、二萬圓デ抑ヘ、而モ需要者價格ハ  
一萬三千圓ニ致シマシテ、其ノ方ノ影  
響ヲ出來ルダケ少タ致シテ居ルノデア  
リマス、將來ノ問題ト致シマシテ其ノ  
二萬圓ノ價格ノ問題ニ付キマシテハ、  
需要者ノ方ニ對スル影響ト云フモノヲ  
十分考ヘマシテ檢討致シタイト思ツテ  
居ルノデアリマス

○福田委員聞ク所ニ依リマスレバ、  
現在ノ鑄業法ヲ改正ナサレルト云フ御  
意向ガアルヤウニ承ツテ居ルノデアリ  
マスガ、若シ局長ニ於テ御分リデゴザ  
イマスレバ、ドウ云フ意圖ノ下ニ現在有  
ノ鑄業法ヲ御改正ナサラントスルノデ  
アルカ、ソレヲ承レバ非常ニ好都合  
デアリマス

○池田(鉄)政府委員 鑄業法ノ改正  
問題デアリマスガ、鑄業法ハ制定以來  
相當ナ年月ヲ經テ居リマシテ、而モ  
爭中ニ於キマシテ地下資源開發法ト云  
フセウナ臨時的立法モ色々出マシテ、  
其ノ系統が亂レテ居リマスノデ、此ノ  
際統一シタ鑄業法ヲ、新シイ情勢ニ即  
應シタ構想ノ下ニ考ヘタイト云フ頃ニ  
思ヒマンシテ、現在商工省ニ鑄業法改正  
準備室ヲ設ケテ検討ヲ致シテ居ルノデア  
リマス、其メ粗ヒマス所ハ色々アル  
ノデアリマシテ、マダ成案ヲ得テ居ナ  
イノデアリマスケレドモ、關係者ノ間  
デ意見ニ上シテ居ル點ヲ若干申上ゲ  
スト、現在地下資源ノ開發ニ付キマシ  
ガ問題ニナツテ居ルノデアリマス、又  
鑄業權自體ニ付キマシテ、休眠鑄區ニ云  
アルノデアリマス、斯ウ云ワモノヲ一  
本ニ統一シタラドウカト云フヤウナ點  
テハ鑄業法ソレカラ砂鑄法ト云フノガ  
アルノデアリマスケレドモ、關係者ノ間  
デ意見ニ上シテ居ル點ヲ若干申上ゲ  
スト、現在地下資源ノ開發ニ付キマシ  
ガ問題ニナツテ居ルノデアリマス、又

○二、英斯西少人總ニテアシトスノイニテ再興能

テ規定ヲシタラドウカト云フヤウノ問題ニナツテ居ルノデアリマス、更ニ其ノ對象ト致シマスル鑛業ニ付キ、シテ規定ガアルノデアリマスガ、ソレヲ必要ナルニモウ少シ範圍ヲ擴張シテハドウカト云フヤウナ問題モアリマス。ナシタラ、粘土デアリマストカ、サウナヤウナ鑛種ヲ更ニ追加シタラドウノテ云フヤウナ意見モ出テ居ルノデアリマス、其ノ外石油資源ノ開發ニ付キ、テハ、是ハ特別ナ規定ヲ要スルノアリマシテ、ソレニ付テノ規定ヲ新設ケル問題デアリマストカ、或ハ正ニヲ加ヘル必要ガアルノデハナイカ、ソレニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、新規定モ、新シイ情勢ニ應ジマシタガ、ノウ云フ諸點ガ現在取上ゲラレテ問題ナツテ居ルノデアリマス。

是非トセ之ヲ根本ニ織込ンデ戴イテ、  
斯ウ云フ版圖ノ狹クナシタ資源ノ少イ  
所デ、有用ナ物ヲ一刻モ早ク出シテ、  
ソシテ日本ノ產業ノ回復ヲ圖リ得ルヤ  
ウニ、是非トモシテ戴キタイ、是ハ話  
ノ行掛り上、私ノ希望意見ニナリマシ  
タガ、之ヲ附加ヘテ私ノ鐵山局長ニ對  
不ル質問ハ打切りマス

唯一言商政局長サンニ一寸伺ツテ私  
ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス、此ノ商  
工協同組合法ハ認可主義ニナツテ居リ  
マスガ、ドウモ此ノ認可主義ト云フノ  
ハ官僚獨善ニ陥リ易イト云フ誇リモ、  
又事實モアリマスカラ、何トカ之ヲ届  
出主義ニ變更ナサル御意思ガアルカナ  
イカト云フコトヲ一言承リタイト思ヒ  
マス

○小出政府委員 只今ノ御尋ね、商工  
協同組合ノ設立等ニ付キマシテ、行政  
官廳ノ認可制度ヲ止メテ届出ニシタラ  
ドウカト云フ御趣旨ノヤウニ承ツタノ  
デアリースガ、商工協同組合ハ御承知  
ノヤウニ法人格ヲ持ツテ居リマス、又  
其ノ行ヒマスル事業ハ各種ノ經濟事業  
ヲ行ヒマシテ、資本金モアリマシテ、  
一つノ企業體ノ如キ運營ヲ致シマス、  
隨ヒマシテ取引ヲ致シマスル第三者ニ  
對スル關係デアリマスルトカ、色々ノ  
點ヲ考へマスルト、大分關係方面ニ影  
響スル所モ大キイ譯アリマスノハ、  
ヤハリ斯ウ云ツタ立派ナ法人格ヲ持ツ  
タ組合ハ、一應其ノ設立ニ付キマシテ  
モ、餘り單ナル届出ト云フコトデナシ  
ニ、最小限度ハヤハリ行政官廳ノ認可  
ニ依ツテ、初メテ其處ニ公認ノ團體ト  
シテ成立スル、斯ウ云フ風ニシタ方ガ  
宜イデヤナイカ、斯様ニ考ヘマシテ、  
設立解散、ソレカヌ定款ノ變更ニ付  
キマシテハ、認可制變ニ致シタノデゴ

ザイマス、併シナガラ御話ノヤウニ此ノ認可制度ヲ悪用致シマスルト、官僚ノ獨善的ナ弊害ガ出テ來ルト云フ處ハ十分ニゴザイマス、隨ヒマシテ此ノ條文ノ中ニモ、行政官廳ノ認可ニ付キマシテ一定ノ制限ヲ設ケマシテ、即チ第五十二條ヲ御覽ニナルト分リマスガ、五十二條ニ於キマシテ、「この法律に基く許可又は認可の申請があつたときは、行政官廳は、法令に違反し又は公益を害すると認める場合の外、その許可又は認可を拒むことができない。」斯ウ云フ規定ヲ設ケマシテ、行政官廳ガ勝手ニ自由裁量デ以テ認可ヲシタリ、シナカツタリスト云フ風ナ弊害ノ起ラナイヤウニ致シタノデゴザイマス、○福田委員 私ノ質問ハ終リマシタ

ノデアリマス  
政府ハ中小商工業者ノ維持、育成、更  
展ヲ圖ル爲ニ本法案ヲ作ラレタノデアリマス、隨テ中小商工業者ニ對シテ、  
非常ニ懲意ヲ以ひ將來ニ處シテ戴キタ  
イト思フノデアリマスガ、大體現在ノ  
所カラ見マスルト、其ノ點ニ二ツノ缺  
陷ガアルト思フノデアリマス、第一ハ  
本案ハ既ニ早ク衆議院ニモ上程サレ、  
隨テ此ノ法案ハ既ニモウ公布サレチテ居  
ラナケレバナラヌ管ナノデアリマス、  
敗戦後ニ於ケル日本ノ中小商工業者トク  
云フモノハ、私ガ今更申スマデモナク  
右ゼンカ左ゼンカ、進ムベキカ退クベ  
キカ、所謂虚脱状態ノ儘デ今日マデ右  
往左<sup>レ</sup>シテ居ルノガ、日本ノ經濟状態  
ナノデアリマシテ、斯ウ云フ際ニ業者  
ハ正シ道へ進ミタイト云フ正義感ハ  
アツテモ、已ムヲ得ズ或ハ闇市場ノ中  
ニ活路ヲ求メテ見タリ、或ハ隠匿物資  
ヲ活用シヨウト云フ次シ心ヲ起シタ  
リ、所謂表ヨリ裏ヘト業者ガ忌ハシ  
方向ニ流レル傾向ガアリ、サウシテ結  
局ハ眞面目ナ取引、眞面目ナ生産ト云  
フモノニ對シテハ馬鹿ヲ見ルト云フ心  
持ガ、業界ニ横溢シテ來テ、惡イ日本  
ノ經濟思想ガ瀕漫シツ、アル今日ノ狀  
況ハ、所謂政府ハ或ハ政治力ノ上ニ於  
テ、或ハ又中小商工業者ノ問題ヲ非常  
ナ熟意ヲ以テ解決スルトスルナラバ、  
早ク斯ウシタ日本ノ中小商工業者ノ行  
クベキ方途ト云フモノヲ、政府自ラガ  
明示シテヤラナケレバナラス、而モソ  
レハ政府ガ、今考ヘテ居ルヤウナ協同組  
合組織ノ下ニ於テ、自主的ニ民主的ニ  
ナ發展ヲササウト云フ考ヘナラバ、尙  
更本法ノ如キモノハ既ニ議會窮頭ニ出  
ナケレバナラス、又此ノ案ハ既ニ大體  
ナ出來テ居ツダ管ナノデアルガ、斯ウ

云フ點ニ於テモ中小商工業者ト云フモノノ日本ノ立場ヲ、口デハ政府ハ日本ノ産業ノ中核體トナスベキモノダト言ツテ居リナガラ、ヤハリスウタ中小商工業者ニ對スル熟意ガ缺ケテ居ツタノデハナイカ、斯ウ云フコトガハツキリト言ハレルト思フ、此ノ點ニ付テ私ハ政府ニ甚ダ遺憾ナ點ガアルト思フ、將來トモ中小商工業者ニ對シテハ、モット熟意ヲ以ツテ事ニ當ラレンコトヲ希望スル、此ノ點ガ一ツナノデアル、併シナガラ既ニ行去ツタ點ハ繰返シテ申上ゲマセヌガ、今後ニ於テ私ハ政府ノ施策ガ宜シキヲ得ナケレバナルト思フ、殊ニ本案ノ如キハ大體ニ於テ各黨各派ノ同僚諸君モ、反對デハナシニ、本法ノ將來ノ實施ノ問題、或ハ行政ノ問題、斯ウ云フコトガ中心ニ、アリマス、ソレカラ第二ハ、既ニ衆議院ヲ通過シテ居リマスル商工經濟會法ノ廢止ニ依リ、商工會議所ガ民主的ニ全國ニ段々設立サレツ、アルノデアリマスガ、是トノ關係ナノデアリマス、政府ハ此ノ委員會ニ於キマシテモ、協同組合法ト商工會議所トノ關係ニ付キマシテハ、ソレハノ立場ニ於テ活用サレルベク説明サレテ居リマスガ、併シナガラ今日ノ日本ノ中小商工業者ガ、民主的ニ自主的ナ發展ヲショウト恩ヒマンテモ中々日本ノ工業者ニ致シマシテモ、商業者ニ致シマシテモ、社會的訓練ト云フモノガ足リナイカ、日本ノ國民性ト云フモノニ弱點ガアルノカ、何レニ致シマシテモ共同的ナ發展ト云フコトハ、非常ニ困難ナ國民性ヲ持ツテ居ルノデアリマス、況シテヤ

此ノ中小商工業ガ、所謂オ互ヒニ生存競争ノ上カラ競争シ合ツテ來タ所ノ、商賣仇ノ間柄デアルヤウナ感情ヲ持ツテ居ル業者ト致シマシテハ、非常ニ困難ガアルノデアリキスガ、中小商工業者ハ將來ノ日本ノ經濟再建ノ中核ヲナスペキ任務ヲ持ツテ居ル、而シテ全國ノ主要ナル各都市ニ於テ商工經濟會ノ役目ヲ果スノニハ、ヤハリ依然ドシテ中小商工業者ガ中核體トナラナケレバナラヌト思フ、ソレデ只今申上ゲタヤウニ此ノ協同組合法ガ大變運レテ來テ居ル點カラ、是ガ結局十月ノ十日頃ニ假ニ公布ニナツタ致シマシテモ、三ヶ月以内ニ戰時中ノ統制組合等ヲ解消シテ組織替ラスルノニハ、一月ノ半バ頃ニナラウト慮ヒマスガ、サウンシタ中小商工業者ノ組織態勢ガ整ツタ時ニハ、既ニ此ノ商工會議所ト云フモノハ全國殆ド設立ヲ終シタ後デハナイカトヨ恩ヒマス、私ハ全國各都市ニ於ケル商工業會議所ガ、中小商工業者ヲ中心トシタ經濟發展ノ爲ノ役目ヲ果スベキモノデアルト考ヘマスガ、マダ中小商工業者ガ準備モ或ハ組織態勢モ整ハナイ内ニヤルコトハ、結局地方ノ古キ「ボス」的ノ存在、或ハ又相當ナル財力ヲ持ツタ連中ニ依ツテ、此ノ商工會議所等が利商用サレル結果ニ陥リ、又現ニ其ノ傾向ガアルコトハ見逃スコトガ出來ヌト私は思フ、既ニ東京都ニ於テモ現在設立委員ガ設立セントシテ居ル所ノ商工會議所ニ對シテ、反對シテ居ル業者ノ組合ガ相當ナル都市ニマダ表面的ニハ現ハレテ居リマセヌガ、相當アルノデアリマシテ、斯ウ云フコトハ即チ政府ノ中小商工業者ニ對スル懲意ガ、本真劍

デナイコトヲ物語ツテ居ルノデハナイ  
カト私ハ思フ、大體こそ於テ本法案ハ前  
ニ申上ゲマシタヤウニサウ大シタ缺陷  
ヲ持ツテ居リマセバ、此ノ運用ガ斯  
ウシタ態度デノ運用デアリ、行政デア  
リ、執行デアルナラバ、我々ハ憂慮セ  
ザルヲ得ナイノデアリマス、將來日本  
ノ產業ハ所謂荊ノ道ヲ歩マナケレバナ  
ラヌ實ニ困難ナル情勢ニアルノデアリ  
マシテ、尋常一樣デ日本ノ經濟ガ再建  
出來ルモノノデナイコトハ私ガ申上ゲル  
マデモナイ、其ノ點ニ申上ゲテ置キ  
タイノデアリマスガ、此ノ二點ニ付テ  
政府ノ反省ヲ求メル時同ニヨ、テ  
政府ノ御所見ヲ承リタイノハ、現在  
段々政府へ設立認可申申請ラシツ、ア  
ル所ノ商工會議所ノ認可ヲ、此ノ協同  
組合法ガ實施サレルマデ延期スル意思  
ガアルカドウカ、此ノ點ヲ先づ第一ニ  
御伺ヒシタイノデアリマス

ノデゴザイマスルガ、御承知ノヤウニ  
今日登録ヲ受ケテ居リマスル「ミシン」  
ハ、臺數ニ致シマシテ約十一萬臺程、今中シ  
ルノデアリマス、此ノ他ニ登録「ミシ  
ン」ト申シマスルノハ、大部分ガ敵  
時中ニ軍ノ關係デ設置サレマシタ「ミ  
シン」デアリマシテ、是ガ略々今中シ  
マシタ登録「ミシン」ト同數位ノ相當ノ  
臺數ガアルノデアリマス、之ヲ我々  
致シマシテハ出來ルダケ登録ヲ受ケル  
ゴザイマス登録「ミシン」ト同様ニ、オ  
互ヒノ間ノ生產調整ヲ行ヒマシテ、極  
力之ヲ活用シテ參リタゞ、斯様ニ考  
テ居ルノデアリマス、唯是ガ具體的ノ  
實施ノ問題ニ付キマシテハ、今日纖維  
全體ノ再建計畫ト云フ意味ニ於キマシ  
テ、聯合軍ト色々打合セラ致シテ居リ  
ノデアリマスルガ、近ク其ノ打合セモ  
ハツキリ結末ヲ見ルト思ツテ居リマ  
ス、其ノ場合ニハ今申シマシタヤウナ  
方針ノ下ニ、今後ノ生產ノ調整ヲ圖ツ  
テ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、  
總テ之ヲ登録ヲ受ケテ貰ヒマシテ、サ  
ウシテ其ノ設備モ極力活用スルト云フ  
方針ノ下ニ、今後ノ生產ノ調整ヲ圖ツ  
テ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、  
ニ基ギヤシテ纖維設備制限規則ト云フ  
モノガ出來テ居リマシテ、ソレニ基イ  
テ登録ヲ行ツテ居リマスルガ、是ガ御  
承知ノヤウニ九月末ヲ以チマシテ根據  
法規ガナクナルノデアリマス、之ニ代  
シテ從來ノ規則ト略々同様ノ規則ヲ新  
ルモノトシテ先般來御審議ヲ願ツテ居  
チ登録ヲ行ツテ居リマスルガ、是ガ御  
リマスル、臨時物資需給調整法ガ議會  
ヲ通過致シマスルナラバ、之ニ基キマ  
シテ從來ノ規則ト略々同様ノ規則ヲ新  
ルニ設ケマシテ、ソレニ依ツテ此ノ登

○ 福田委員長代理　只今ノ纖維局長ノ  
答辯ハ自由黨ノ同僚委員カラ山田君ニテ  
傳達シテ貰フコトニ致シマシタ、ソレ  
デハ前田君ノ先程ノ質問ニ對スル政府  
委員ノ御答辯ヲ願ヒマス  
○ 小出政府委員　只今ノ御質問ハ政府  
ノ中小企業對策ニ對シマスル熱意ト云  
シマスルカ、其ノ點ニ於キマシテ遺憾  
ノ點方アルノデハナオカ、斯ウ云フ點  
ガ第一點デアツタノデアリマスルガ、  
御詫ノヤウニ此ノ商工協同組合ト云  
風ナ制度ガ如何ニ立派ナ制度デゴザイ  
マシテモ、之ヲ運営スルニ當リマシテ  
熱意万缺ケルト申シマスルカ、官ニ於  
テモ、又民ニ於テモ、之ヲ本當ニ活用  
スルト云フ熱意ガナイ場合ニハ、全ク  
死ンダ制度ニナツシマフ譯デアリマシ  
シテ、政府ト致シマシテハ出來ルダケ  
此ノ組合制度ヲ中心トシテ、之ヲ根柢  
トシテ中小企業對策ヲ推進致シタイ、  
斯ウ云フ熱意ヲ十分ニ持ツテ居ル積り  
デゴザイマス、唯此ノ法案ヲ提出致  
マスニ當リマシテハ、色々關係方面ト  
ノ折衝等ニ以外ニ時間ヲ費シマシテ、  
其ノ御賛賀ヲ願フ時期が非常ニ遅レマ  
シタコトヲ洵ニ申譯ナイト思シテ居  
マス

次ニ此ノ組合制度ガ出來マシタ場合  
ニ於キマシテ商工會議所トノ關係デゴ  
ザイマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ先  
程モ御答ヘ致シマシタヤウニ、兩者ハ  
洵ニ密切ナ關係ガアル譯デゴザイマ  
ス、併シナガラ其ノ兩者ノ制度ノ内容  
ニ於キマシテハ、此ノ協同組合制度ハ  
一ツノ事業團體デゴザイマシテ、之ニ

對シマシテ商工會議所ハ一定ノ地域ニ  
於ケル各種ノ業者ナリ、或ハ團體ノ意  
見ヲ綜合致シマス地域團體デゴザイマ  
シテ、自ラ其ノ間ニ關聯ハゴザイマス  
ルガ、其ノ職能ニ於キマシテハ全然別  
個ノモノデゴザイマス、隨ヒマシテ兩  
方ノ制度ハソレト、別々ニ實施致スコ  
トニナツテ居リマシテ、偶ニ商工經濟  
會法ノ廢止ガ先ニ成立致シマシテ、新  
シ商工會議所ノ設立ハ法律ニ依ラナ  
イデ、民法ニ依ル社團法人ニ依ツテ出  
來ルコトニナツテ居リマスノデ、是ハ  
モウ既ニ京都、大阪、神戸、奈良ト云  
ヤウナコトニナツテ居リマス、隨ヒマ  
シテ斯ワ云フ風ナ自發的ニソレムノ  
地域ニ於キマシテ、逸早ク會議所ヲ作  
リタイト云フ風ニ話ガ繰マリシタ場  
合ニ於キマシテハ、必ズシモ此ノ協同  
組合法ノ實施ヲ俟タズシテ、健全ナモ  
ノデアリマスレバ次々ニ認可ヲ致シテ  
參りタタイ、斯様ニ考ヘて居リマス、唯  
先程御話ノ中ニ出マンシタヤウナ、東京  
ニ於キマシテハ多少此ノ設立ニ當リマ  
ジテ意見ガ分レマシテ、大體ニ於テ大  
企業ノ利益ヲ代表スル方面ト、中小ノ  
企業ノ利益ヲ代表スル方面ノ方々トノ  
意見ノ對立ガアツタヤウニ伺ツテ居リ  
マスガ、是モ極ク最近ニ至リマシテ圓  
滿ニ解決ヲ致シマシテ、兩方一縁ニナ  
リキシテ、全體ガ一縁ニ設立ノ認可ノ  
手續ヲ進メル、斯ワ云フコドニ相成ツ  
タヤウニ承ツテ居リマス、斯ワ云フ風  
ニ大體圓滿ニ解決致シテ居リマスモノ  
ニ付キマシテハ、必ズシモ協同組合法  
ノ實施ヲ俟ツ必要モナイノデハナイ  
カ、斯様ニ考ヘマシテ、兩制度ノ實施

ニ付キマシテハ、一應時間的ニハ別個ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス○前田委員　只今ノ答辯デ大體了解シタノデアリマスガ、唯今中小商工業者ハ、戰時中ノ種々ナル組織カラ新シイ組織ヘノ轉換期デアリマシテ、隨テ團體的ナ秩序整然タル行動ト云フコトニハ、モウ少し時ヲ藉サナケレバナラヌノデハナイカト思フノデアリマス、中小商工業者ハ大企業家、大資本家トハ違ヒマシテ、個々ノ業者デアル間ハ極メテ弱者デアリ、是等ノ業者ノ發展性ニ付チハ微力ナモノデアルノデアリマスガ、要スルニ組織體トシテノ中小商工業者ガ發展シテヨ、新シイ經濟再建ノ基盤トナリ得ルノデハナイカト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、サウ云フ上カラ言ヒマスト、成程商工會議所ト云フモノハ社團法人組織デアツテ、個人或ハ法人、其ノ制限ヲ別ニシナインデ、地方ノ民主的ナ組織ニナルト云フコトニハナツテ居リマスルガ、主トシテ中小商工業者ニ關スル限りハ、此ノ組織體ヲ強メタ上ニ於ケル所ノ指導機關、或ハ又色々ナ研究機關、其ノ他ノ商工業ニ對スル利用機關トシテノ商工會議、斯ウ云フモノコソガ日本ニ今日必要デハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ上ニ立ツテ商工會議所ヲ政府ノ指導ノ中ニ、中小商工業者ノ團體的ナ活動ト云フモノヲ、モット強ク織込ムベキデハナイカト私ハ強ク感ジテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル政府ノ御意見ト、若シサウダストスルナラバ、今後、サウ云フヤリ方デソレヲ進メテ行カ、御所見ヲ御伺ヒシタインデアリマス

シマシタヤウニ、都市ナリ府縣ト云フ  
一定ノ地域ニ於キマシテ、其ノ地域ノ  
中ニアリマスル各種ノ經濟團體、其ノ  
ガ、一定地域内ノ各種ノ經濟團體ノ總  
意ヲ反映致シマシテ、ソレヲ政府ニ對  
シテ建議シ、或ハ横ノ連絡ナリ縦ノ連  
絡ヲ圖ル、乃至ハ一緒ニナツテ色々ナ  
調査ラスルト云フ風ナコトガ聯能デア  
ル譯デアリマスルガ、之ニ對シマシテ  
中小商工業者ノ公正ナル利益ヲ代表  
シ、其ノ意見ヲ反映スルヤウニ運營ラ  
スルト云フコトニ付キマシテハ御話ノ  
通リデアリマシテ、東京ヤ大阪ト云フ  
風ナ大都市ニ於キマシテハ、勿論色々  
ナ種類ノモノガザイマスケレドモ、  
田舎ノ方ノ府縣ニ参リマスト、寧ロ商  
工會議所ノ主タル「メンバー」ハ、中小  
商工業者及び其ノ團體ガ、其ノ中心勢  
力ヲ成スコトハ當然アラウト思ヒマ  
ス、隨ヒマシテ商工會議所ハサウ云フ  
場合ニ於テハ、勿論中小業者ノ公正ナ  
ル利益ヲ代表スル機關トシテノ役割ヲ  
十分ニ果スコトガ出來ルカト考ヘテ居  
ルノデアリマス、又商工會議所ト並ビ  
マシテ、此ノ商工協同組合ニ付キマシ  
テハ、法文ノ中ニモアリマスルヤウニ  
中央會ト云フ組織ガアリマシテ、其ノ  
中央會ガ各府縣ニ手足ヲ持ツテ、是ガ  
云フ風ナ組織モアリマスノデ、兩者相  
俟チマシテ、中小業者ノ意見ヲ反映ス  
ル十分ナル運營ガ出來ルモノト考ヘテ  
居ル次第アリマス

少違ヒマスガ、是レ位ニシテ置キマシテ、本法案ノ商工業ノ中デ、商業ノ部面ト、工業ノ部面ト、商工ニ關スル部面ト三通りアルト思ヒマスルガ、先づ商業ノ部面カラ御説明ノ申上ダイト思フノデアリマス、中小商業者ニ對スル本法ノ適用或ハ利用ニ付テ、今マデ當局カラノ御意見デアリマス、又消費組ニ付テハ「チエーン・ストア」其ノ他協同施設ニ依ツテソレハ、對抗シ、其ノ中小商工業者ノ發展ヲ自主的ニヤラセタイト云フ御意見デアリマス、又消費組合等ノ關係ニ付キマシテハ、ヤハリ餅ハ餅屋デ、商賣人ノ持ツテ居ル技術的小方面ヲ活カシテ動カセレバ、又消費組合ノ中ノ配給部面ヲ擔當スルヤウナ妥協的ナ方法等モアルノデアツテ、中小商業者ガ生キル道ハアル、又農業會其ノ他ニ付テハ、ソレハ只今申上げマシタヤウナ理由ノ下ニ、中小商工業者ノ將來生キル道ガアルト云フヤウナ、只今マデノ大體ノ御説明デアツタヤウニ記憶致シテ居リマスガ、日本ノ商業者ノ最モ弱點ハ、前ニモ同僚議員カラ質問ガアリマシタ通り、要スルニ日本ノ總人口ニ對シテ必要以上ノ業者ガ居ルト云フコト、而モ其ノ業者ト總人口トノ比率ガ極メテ非科學的ニアリ、又商賣ノ仕方モ極メテ非科學的ナ商賣ノ仕方ヲスル爲ニ、是ハ昔日ノヤウナ實情、或ハ過去ニ於ケル日本ノ國際的ナ立場ノヤウナ場合ニ於テハ、或ハ關稅障壁等ヲ設ケルト云フヤウナコトデ、日本ノ商賣人ヲ、何等カノ形ニ於テ擁護スル方法モアツタデアラウガ、將來ニ於ケル日本ノ商賣ト云フモハ、ヤハリ國際經濟ノ線ニ沿ウタ商賣ノ仕方ヲシナケレバナラヌノハ、是ハ當然ナコトデアツテ、單ニ政府ガ考

「テ居ラレルヤウニ、商賣人ガ協同合ヲ組織シテ、「チエーソン・ストア」ヲヤツテ百貨店ニ對抗スルト云フヤウナ生易シイコトデ、中小商工業者ハ浮ニ上ル望ミハ絶対ニ、ナイト思フ、若シハレナル小サキ業者側ハ、多クノ犠牲ノ上ニ立タケレバナラヌノデハナイカ、詰リ中商工業者ノ中デ、生存スルノ競争ノ上ニ立ツテ、澤山ノ犠牲ノ上ニ立タ後、殘存スル所ノモノダケガ百貨店ニ對抗スルノデハツテ、多數ノモノハ沒落スルノデハナイカト、我々ハ心配致シテ居ルノデアリマスガ、政府ハ唯民主的ナ自主的ナコトデ、何トカヤウニシカ結論ハナツテ居ラナイマスガ、斯ル世ノ中デアルヨ雖モ、斯ウタコトガ若シアルトスルナラバ、相當意味ノ答辯ニシカト思フ、假令今日民主主義ノ思想ガ尊重サレル世ノ中デアルヨ雖モ、斯ウタコトガ行ハレナケレバナラヌト思フ、サウ云フ觀點カフ日本ノ商業ト云フモノヲマスト、結局今ノ商業ノ入数ノ制限ナケレバナラヌ、是ハ企業許可令ノ延長カ、或ヘ許可制度ヲ布クカ、何レカノ方法ヲ執ラナケレバ、日本ノ商業者ト云フモノハ活路ガ開カレナイト思フ、マスガ、政府ノ御所見ヲ御同ヒシタノデアリマス

タテ大分ソレ等ガ轉身シマシテ、終戰後ハ商業ガ非常ニ減ソテ參ツタノデ、アリマスガ、併シ段々トソレ等ノ人々ハ軍需方面カラ解放セラレテ、多數ノ人口ガ最モ資本ノ要ラナイ露店の商業ト云フ方面ナドニ赴キツ、アル現状デアリマス、人口ガ多クテ生産物ノ少イ我ガ國ニ於キマシテハ、非常ニ少イ勝得ヲ成ベク多數ノ人口ガ分ケ合フコトノ必要カラ、商業人口ノ減少ト云フコトハ、御説ノ如クニ當然當分ノ間ハ望難イコトニナルデアラウト思フノデアリマス、隨テ此ノ儘ニ置イテオキマスルト、中小商業ノ氾濫ト云フモノガ、非常ニ惨メナ形態デ再現スルヤウナ結果ニナルノデハナイカト思フ、其ノ點ニ於テ洵ニ御同感デアリマス、隨テ是等ノ中小商業ガ、凡エル方面ニ於ケル資本ノ大キイ百貨店ナドト對抗シテヤツテ行ク上ニハ、一方ニ於テ其ノ商業者ノ數ヲ出來ルダケ少クスルヤウニ指導ヲスルト同時ニ、一方ニ於テハ斯ウ云フ資本ノ小サイ所ノ中小商業者ガ一ツノ組織ヲ持ツテ、組合組織ニ依ツテ是等ノ缺ケタル力ヲ補ツテ、サウシテ御互ヒニ相倚リ相扶ケ合ツテ、組合組織メ發達ニ依ツテ、大企業ノ持ツ合理化ニ幾分デモ接近スルト云フ風ニシテ行クコトガ、之ヲ數ノ唯一人途デハナイカト考ヘルノデアリマス、從來ノ間屋ガ持ツ商業金融、販賣廣告、商品需給ノ豫測等ノ諸機能ヲ、民主的ノ組合機構ニ依ツテ代替スル方向ニ向ハナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、御説ノ如ク我ガ國ニ於ケル中小商業ノ行キ方ニ依ツテハ非常ナル苦シイ立場ニ至ルデアラウト思ヒマスノデ、政府ハ出來ルダケサウ云フ方ニ考慮ヲ用ヒテ、行カナケレバナラ

テト考ヘテ居リマス、其ノ第一歩シテ此ノ協同組合法ナドモ考ヘラレタモノデアリマシテ、此ノ協同組合法其ノモノヲ讀ミマスレバ、之ニ依ツテ起死回生ノ妙薬ガ盛ラレテ居ルモノデハ准シテアリマセズケレドモ、併シ是ノ用ガ非常ニ宜シト云フコトニナレバ、只今御心配タヤウナ缺點ヲ救ヒ復ヘル、一ツノ大キナ助ケトナルト斯ワヘルノデアリマス

○前田委員 結局ハ最初カラ申上ゲシタヤウニ、運用ノ問題ニ舞戻ツテ來居ルノデアリマスガ、此ノ運用ノ問題ニ付キマシテハ色々説ガ分レル點モアリマスカラ、是ハ此ノ位ニシテ置キスガ、只今申上ゲマシタノヘ、要スリニ横ノ數ノ問題ニ付テノ制限ノ問題ニ觸レタノデアリマス、其ノ次ニ日本ノ商業ノ、所謂國民生活ニ必要ナル配給ノナス配給機關トシテノ配給機構ノ改善ニ付テ、政府ノ御所見ヲ御伺ヒシタノイノデアリマス、戰爭中ニ於キマシテモ隨分斯ウシタ問題ガ取上ダラレマシテ、色々整備整理ガ行ハレタノデアリマスガ、尙ホ今日ノ日本ノ經濟ノ一部點トモナツテ居ルモノハ、生産カラ消費ヘノ段階ニ於ケル階段ノ多過ギルトナノデアリマス、ソレドモ其ノ品物マスガ、尙ホ今日ノ日本ノ經濟ノ一部點トモナツテ居ルモノハ、生産カラ消費ヘノ段階ニ於ケル階段ノ多過ギルトナノデアリマス、ソレドモ其ノ品物ニ依ツテ勿論色々ヒマスガ、生産カラ卸中卸、小卸ト云フヤウナ者ガアリマスルシ、ソレドモ其ノ中ニ介在シテ、小賣商人ノ所ヘ參ルノハ四段階ノ單價ガ歐米諸國カラ見マスルト非堂々ナケレバナラヌモノアリマスルシ、ソレドモ其ノ中ニ介在シテ、又之ヲ改革スベキ要ガアルト思フリ、ノデアリマスガ、政府ハ此ノ縱ノ配給ノ

機構ノ改革、生産カラ消費ヘノ段階ノ  
壓縮、斯ウ云フ點ニ付テノ何等カノ御  
意圖ガアルカドウカ、御意見ヲ御伺ヒ  
シタイノデアリマス

○小林政府委員 只今前田サンノ言ハ  
レマスマスヤウニ、生産者ガ消費者ヘト  
云フコトハ、殊ニ消費者ノ爲ニ考フベ  
キコトデアラウト思ヒマス、併シナガ  
テ此ノ頃隨分我々ガ考ヘルコトデアリ  
マスガ、品物ガナイ爲ニ消費者ガ自分  
カラ苦シイ汽車ニ乗ソテ方々飛び廻ツ  
テ、直接色々ヲ買フトガ、野菜ヲ買  
フドカ云フヤウナコトヲシテ居ル所謂  
賣出ト云フコトカラ考ヘテ見マシテ、  
必ズシモ消費者ガ直チニ生産者ニ直結  
スルト云フコトガ、全體的ニ宜イトノ  
ミハ考ヘラレナインデアリマシテ、場  
合ニ依ツテハ其ノ中間ニ居ツテ、所謂  
餅ハ餅屋デ、品物ヲ集メテ直接二個人  
ガ買ヒニ行ツテ買出ヲシテ來ルヨリ  
ハ、安イ值ニ於テ品物ヲ捌イテ行ク  
云フコトモ出來ルノデアリマシテ、サ  
ウ云フ意味ニ於テ商業ト云フモノノ存  
在ノ價値ガアルノデアリマス、併シナ  
ガラ其ノ間ニ幾多ノ中間者ガアツテ、  
色々々ナ利潤、手數料ガ其ノ間ニ加算サ  
レ行ケバ、結局消費者ソ手ニ渡ル場  
合ニハ高イ値段ニナルノデアリマスカ  
ラ、出來ルダケ其ノ中間者ノ存在ト云  
フモノハ少クシナケレバナラヌノデア  
リマスケレドモ、サレバト云ツテ、之  
ヲ全然壓縮シテ直チニ生産者カラ消費  
者ヘト云フコトニ依ツテ、必ズシモ消  
費者ニ全幅ノ利益ヲ與ヘルト云フモノ  
デモナ、要スルニ程宜シキヲ得ル所  
ニ於テ、初メテ商業ノ存在ノ價値ガア  
ルノデアリ、同時ニ消費者ノ爲ニモナ  
ルノデアル、斯ウ云フ風ニモ考ヘテ居  
ルノデアリマス

○福田委員長代理 前田君ニ御説り致

シマス、只今御要求中ノ警保局長ガ御見エニナリマシタカラドウゾ……

○前田委員 警保局長ニ御質問申上ゲ

タインデアリマスガ、只今審議中ノ商工協同組合法ハ所謂中小工業者ノ重大

工業者ノ問題ノ申デ、労務者ノ取扱ト云フコトモ將來ノ工業者ニハ重要ナ問題ナノデアリマス、最近「ストライキ」

ガ各所ニ起ツテ居リマスルガ、此ノ「ストライキ」ニ關聯シマシテ、現實

ノ問題ガ廣島縣ニ二件忌ハシイ問題ガ起ツテ居ルノデアリマス、其ノ一ツハ終戦後本年ノ三月頃ダツタ思ヒマスルガ、吳市役所ノ從業員組合ノ爭議

ノ際ニ、爭議團ニ暴力團ガ駆逐込ミラヤツテ、暴力行爲ニ依ツテ之ヲ抑壓シ

スルガ、吳市役所ノ從業員組合ノ争議

ヨウトシタ、所謂極メテ民主主義國家ニ

於テアルベカラザル行爲ガアツタノアリマス、此ノ問題ハ其ノ後司法當局

ノ方デドウナツテ居ルカ、私ハ其ノ後

能ク聞キマセヌガ、其ノ際ニ於ケル警官ノ取扱モ極メテ私ハ不満足アツタ

ノデ、當時モ縣警察部長ヘモ強ク抗議

テ居ルノデアリマスガ、其ノ後

ノ取扱モ極メテ私ハ不満足アツタ

ノ方デドウナツテ居ルカ、私ハ其ノ後

ノ取扱モ極メテ私ハ不満足アツタ

ノ方デドウナツテ居ルカ、私ハ其ノ後

ノ取扱モ極メテ私ハ不満足アツタ

ノ取扱モ極メテ私ハ不満足アツタ

タノハ本月ノ七、八日ダツタ思ヒマ

スガ、二十人バカリノ暴力團ガ、罷業

團ガ生産管理デ工場デ仕事ラシテ居ル所ヘ駆逐ミラヤツテ、罷業團ニ八名

ノ負傷者ヲ出シ、ソレカラ駆逐ミラ

ヤツタ方モ一人カ二人怪我ラシタサ

デアリマス

〔福田委員長代理退席、委員長著席〕

ソレカラ其ノ後私丁度廣島ニ歸ツ

テ居ツタノデ、警察部長ニ會ヒマシテ

其ノコトヲ言ツタラ、嚴重ニ此ノ問題

ハ處理スルカラト云フコトデ、警察部

長モ、所轄警察署長ニ於テモ、十分ナ

ハ處理スルカラト云フコトデ、警察部

長モ、所轄警察署長ニ於テモ、十分ナ

ハ處理スルカラト云フコトデ、警察部

長モ、所轄警察署長ニ於テモ、十分ナ

ハ處理スルカラト云フコトデ、警察部

長モ、所轄警察署長ニ於テモ、十分ナ

ハ處理スルカラト云フコトデ、警察部

長モ、所轄警察署長ニ於テモ、十分ナ

ハ處理スルカラト云フコトデ、警察部

長モ、所轄警察署長ニ於テモ、十分ナ

ハ處理スルカラト云フコトデ、警察部

ナイカラアレダラウト云フヤウナ想像

デハヤレヌト云フヤウナ、サウ云フ生

易シヨコトデ、民主主義的ナ民衆運動

ヲ抑壓スルト云フコトハ以テノ外ダト

ニ付テドウ云フ御處置ヲナサツタノ

カ、又ドウ云フ御考ヘアルノカ一ツ

御尋ネシタイト思ヒマス

○谷川政府委員 只今ノ前田サンノ御

尋ねニ御答ヘヲ申上ゲマス、労働争議

ヲ隨伴致シテ起ツテ居リマス不法越軌

行爲等ニ對シテ取締、或ハ十分御期待

色ナ豫備的或ハ後カラノ措置ト致シマ

シテヤル場合ニハ検察當局ト十分ナル

非當ナ田舎チアリマスルシ、井戸ノ申

ナ蛙モ隨分ラヌコトヲシテ居ルト云

フ話デス、結局問題ハ只今申上ゲマジ

タ此ノ負傷者ヲ出シ、暴力團ヲ使ツタ

ノハ山本ニ違ヒナインダカラ、山本ヲ

引張ツテ山本ノ適當ナ處斷ヲ行フト云

ノガ、最近盛シ行ハレテ居リマス

ル關係上、地方ノ警察官ト云フモノ

ガ其ノ精神或ハ其ノ内容ト云フモハフ

十分承知致シ兼ホテ、或ハ十分御期待

ニ副ヒ兼ホルト云フヤウを點ガアルカ

テ处置ノ仕方ハ第二段ニ考ヘラレルモ

ナダト思フノデアリマスガ、其ノ點ガ

ガ付クナラバ、是ハソレレムノ當局トシ

テ、嚴正公平ナル取締ヲナサシムベク

努力致シタイト考ヘテ居ルヤウナ次第

デアリマス

○前田委員 大體警保局長ノ答辯デ了

○前田委員 大體警保局長ノ答辯デ了

○前田委員 大體警保局長ノ答辯デ了

マセヌガ、地方新聞ニ出テ居リマス、

シテヤル場合ニハ検察當局ト十分ナル

ノ蛙モ隨分ラヌコトヲシテ居ルト云

フ話デス、結局問題ハ只今申上ゲマジ

タ此ノ負傷者ヲ出シ、暴力團ヲ使ツタ

ノハ山本ニ違ヒナインダカラ、山本ヲ

引張ツテ山本ノ適當ナ處斷ヲ行フト云

ノガ、最近盛シ行ハレテ居リマス

ル關係上、地方ノ警察官ト云フモノ

ガ其ノ精神或ハ其ノ内容ト云フモハフ

十分承知致シ兼ホテ、或ハ十分御期待

ニ副ヒ兼ホルト云フヤウを點ガアルカ

テ处置ノ仕方ハ第二段ニ考ヘラレルモ

ナダト思フノデアリマスガ、其ノ點ガ

ガ付クナラバ、是ハソレレムノ當局トシ

テ、嚴正公平ナル取締ヲナサシムベク

努力致シタイト考ヘテ居ルヤウナ次第

デアリマス

○前田委員 大體警保局長ノ答辯デ了

○前田委員 大體警保局長ノ答辯デ了

○前田委員 大體警保局長ノ答辯デ了

マシテハ不正ナル「ストライキ」モアル  
ト思ヒマス、斯ウ云フコトヲ建前トシ  
テ見マス場合ニ、ヤハリ政府當局カラ  
一應妥協ニ至ル簡単ナル報告ヲ承ツ  
テ、サウシテ二三質疑ヲシテ見タイト  
考ヘルノデアリマス、其ノ點ドウソ運  
輸大臣ノ御考ヘヲ述べテ戴キタイト思  
ヒマス

○平塚國務大臣 海ノ「ストライキ」ガ  
先般解決致シマシタコトハ新聞ニ依ツ  
テ發表セレタ通りデアリマス、船員組  
合ト運營會トノ間ニアノ協定ヲシマス  
マデニ、新聞ニ發表シタ外ニ兩者ノ間  
ニ一種ノ諒解事項ガヨザイマス、ソレ  
ミハ惡質者又ハ不適格者ハ組合ノ自由  
意思ニ依ツテ整理ヲスルト云フコトノ  
話合ヒガ出來タ、ソレガ一ツ諒解事項  
ニナツチ居リマス、鐵道ノ方ハ御承知  
ノヤウニ惡質者ハ整理スルト云フ言葉  
ハ協定書ノ中ニ入ツテ居ツタノデアリ  
マス、海ノ方ハ色々ナ關係カラシテ其  
ノ協定書ニハ現ハレテ居リマス又ケレ  
ドモ、諒解事項ニハヤハリ同一ノコト  
ガ謳シテ居ルノデアリマス、左様御詠  
承願ヒタイト思ヒマス

○布委員 海ノ「ストライキ」ト陸上ノ  
「ストライキ」ハ稍ミ動キヲ異ニスル場  
合ガアリマス、海ノ場合ニ於キマシテ  
ハ、詰リ海員其ノモノガ長イ間外國ノ  
港々ヲ見テ參ツタ者モ中ニアリマスノ  
デ、外國ノ良イ所バカリ見テ來テ居ル  
ナラバ宜シイガ、中ニハ相當惡イ點ヲ  
見テ來テ、自ラ反省ヲシナイ者モ私ハ  
若干ナガラサウ云フ知識ヲ持ツテ居リ  
マスノデ、今「ストライキ」ヲヤリマス  
ト云フ場合ト、ソレカラ惡質者ヲ自分  
ノ方デ説明スルト云フ組合側ノ言フコ  
ト、其ノ「ストライキ」ニ依ツテ受ケマ  
スル損害、ソレハ誰が被ルカト云フ  
ト、私ハ背後ノ國民ガ受ケルモノデア  
リウト思フ、背後ノ國民ニモ其ノ惡質  
デアルカノ御相談ヲ受ケルダケノコト  
ハ、私ハ被害ヲ受ケマス、併シ今直チ  
者ノ中ニモ、相談ニ與ツテ宜シト云  
モノデハナカト思フノデアリマス、  
ソレハ運輸省トシテハドウ云フモノデ  
ゴイマスカ、一ツ御尋不シテ見タイト  
キマス

○平塚國務大臣 是ハ組合ガヤルト致  
シマシテモ組合ケデハナカ、海ノ方  
テ如何ナル御意見デアルカ、併シテ  
被報ヲ一番受ケマス國民トシテハ、ド  
ウモスウ云フコトニ付テハ一應御尋  
シテ置ク必要ガアルカラ、斯ノマシタ  
云フ状態ハ悲シムベキ現象デハナ  
カ、斯ウ考ヘマシテ最後ノ言葉ト致シ  
テ見マス場合ニ、ヤハリ政府當局カラ  
一應妥協ニ至ル簡単ナル報告ヲ承ツ  
テ、サウシテ二三質疑ヲシテ見タイト  
考ヘルノデアリマス、其ノ點ドウソ運  
輸大臣ノ御考ヘヲ述べテ戴キタイト思  
ヒマス

テヤルコトニシナケレバナラヌト思ツ  
テ居リマス、鐵道メ方ハ勿論協議會ニ  
ガ、海ノ方ハ運營會ト組合デアツタノ  
デアリマシテ、非常ニ純レマシテ第三  
者ヲ煩ハシテ、其ノ第三者ガ立會ツ  
テ、又運輸省モ直接ノ關係デアリマセ  
スケレドモ、監督官廳トシテ立會ツテ  
此ノ協定ヲシマシタノデ、誤解事項ト  
云フモノハ必ズ實行シナケレバナラナ  
イモノト私ハ確信シテ居ル次第デアリ  
マス

○布委員 私共ハ外國ノ「ストライキ」  
テ體驗シテ來テ居リマス、無論「ゼネ  
スト」ニモ遭ツテ苦シシテ來マシタ、  
日本ノ「ゼネスト」ニハマダ遭ヒマセヌ  
ヒマス

○布委員 私共ハ外國ノ「ストライキ」  
テ居リマス、ソレヲ比較對照シテ見マス  
ト、日本ノハ是ハ批判的ダト思フガ、失  
業救濟ト首誠リ取止メトハドウ云フ關  
係ニアルノカ、「寸ソロヲ御伺ヒシテ  
置キタト思ヒマス

○平塚國務大臣 御承知ノ通リ勞働法  
ガ昨年初メテ出タノデアリマシテ、何  
處デモ相當組合ト云フモノヲ結成シテ  
居リマスガ、本當ノ勞働運動ト云フモ  
ノニ對シマシテハ、日本ハマダ外國ニ  
比ベテ極メタ幼稚デアリマス

○福田委員長代理退席、委員長著  
席

隨ヒマシテ我々トシマシテハドウシテ  
モ組合ヲ指導シテ、本當ノ正シイ勞働  
運動ニシナケレバナラヌト思ツテ居リ

ト云フ時ニ、正シク整然ト行フノデア  
マス、併シ將來ハ何トシテモ勞働組合  
ト云フモノハ相當ニ發展シテ行クダラ  
カモ知レマセヌガ、此ノ言葉ヲ使ハシ  
テ戴クナラバ紳士的ナル「ストライキ」  
ナル、感情ガナイ、合理性デアルト  
シテ、紳士ト云フ言葉ハ、語弊ガアル  
ラウト思フ、一ツモ是ニハ煽動ト他動  
的ノモノガナ、自立的ニ必要デアル  
ト云フ時ニ、正シク整然ト行フノデア  
マスノデ、今「ストライキ」ヲヤリマス  
ト云フ場合ト、ソレカラ惡質者ヲ自分  
ノ方デ説明スルト云フ組合側ノ言フコ  
ト、其ノ「ストライキ」ニ依ツテ受ケマ  
スル損害、ソレハ誰が被ルカト云フ  
ト、私ハ背後ノ國民ガ受ケルモノデア  
リウト思フ、背後ノ國民ニモ其ノ惡質  
デアルカノ御相談ヲ受ケルダケノコト  
ハ、私ハ被害ヲ受ケマス、併シ今直チ  
者ノ中ニモ、相談ニ與ツテ宜シト云  
モノデハナカト思フノデアリマス、  
ソレハ運輸省トシテハドウ云フモノデ  
ゴイマスカ、一ツ御尋不シテ見タイト  
キマス

宜イカドウカ知リマセヌガ、正シクナ  
イト云フ者、之ヲ養フト云フコトト  
ソレカラ、失業者ヲ救済スルト云フコト  
トハ意味ガ違フヤウニ思ヒマスガ、失  
業救濟ト首誠リ取止メトハドウ云フ關  
係ニアルノカ、「寸ソロヲ御伺ヒシテ  
置キタト思ヒマス

○平塚國務大臣 沖ニ御説ノ通リデア  
リマシテ、恐らく何人モ此ノ國有鐵道  
ノ「サービス」ノ悪イコトニハ意見ガ一  
致シテ居ルト思フ、私モ強く其ノ感ニ  
打タレテ居ルノデアリマシテ、今回ノ  
爭議モ整理シヨウト云フ所カラ衝突ガ  
起キタノデアリマスガ、併シ今度ノ協  
定ニ依リマシテ、合理的三國有鐵道ノ  
運營ヲスル協議會ヲ設ケテヤル、ソレ  
ニハ第一番ニ配置轉換フヤラナケレバ  
ナラヌ前ニ少數ノ人デ經營シテ居ツタ  
時代ニハ人手ガ揃ツテ居ツタ、所ガ戰  
時中役ニ立ツ人ガ大分軍人其ノ他ニ徵  
テテシマヒマシテ、其ノ代リニ多數  
ノ人ヲ入レテヤツタノデアリマスルカ  
ラ、全ク適當ナ人ガ適當ナ場所ニ就イ  
テ居ラナカツタ、ソレガ今回戰爭ノ終  
ルト共ニ、外地カラ全體デ十九萬人位  
ト云フモノハ相當ニ發展シテ行クダラ  
ウト思フノデアリマス、唯其ノ場合ニ  
成ベク正シク勞働運動ヲサセルヤウニ  
關係者ガ指導シテ、サウシテ又指導ハ  
カリデナク教育ヲ施シテ、健全ナル組  
合運動ガ起キルヤウニシナケレバナラ  
ヌト考ヘテ居リマス

○布委員 最後ニツヅダケ御伺ヒシテ  
置キタノハ、運輸關係殊ニ陸上ガ最  
モ我々ニ密接ナ關係ガアリマス、詰リ  
省線ノ乗降リカラ荷物ノ關係マデアル  
ノデスガ、ソレガ今マデハ取扱ガ惡  
イ、人民ニ對スル取扱ガ是レ位惡イモ  
ノハナカ、ドウカ是ハ希望デアリマス  
ガ、是ノ問題ガ一番重要デアルト云フ  
コトヲ考ヘテ戴イテ、モウ少シ明ルイ  
氣持ニセセテ貰ヒタイ、如何ナル訓令  
モ命令モ未ダアノ驛員ニ及バナイト  
云フ状態ハ悲シムベキ現象デハナ  
カ、斯ウ考ヘマシテ最後ノ言葉ト致シ  
テ思ヒマス、次ニハ工業方面ノ共同組

テ置キマス  
○平塚國務大臣 沖ニ御説ノ通リデア  
リマシテ、恐らく何人モ此ノ國有鐵道  
ノ「サービス」ノ悪イコトニハ意見ガ一  
致シテ居ルト思フ、私モ強く其ノ感ニ  
打タレテ居ルノデアリマシテ、今回ノ  
爭議モ整理シヨウト云フ所カラ衝突ガ  
起キタノデアリマスガ、併シ今度ノ協  
定ニ依リマシテ、合理的三國有鐵道ノ  
運營ヲスル協議會ヲ設ケテヤル、ソレ  
ニ配位置轉換フヤラナケレバナラヌ前ニ  
少數ノ人デ經營シテ居ツタ時代ニハ人  
手ガ揃ツテ居ツタ、所ガ戰時中役ニ立ツ  
人ガ大分軍人其ノ他ニ徵テテシマヒマシ  
テ、其ノ代リニ多數ノ人ヲ入レテヤツタ  
ノデアリマスルカラ、全ク適當ナ人ガ  
適當ナ場所ニ就いて居ラナカツタ、ソ  
レガ今回戰爭ノ終ルト共ニ、外地カラ  
全體デ十九萬人位ト云フモノハ相當ニ  
發展シテ行クダラウト思フノデアリマ  
ス、唯其ノ場合ニ成ベク正シク勞働運  
動ヲサセルヤウニ關係者ガ指導シテ、  
カリデナク教育ヲ施シテ、健全ナル組  
合運動ガ起キルヤウニシナケレバナラ  
ヌト考ヘテ居リマス

○布委員 最後ニツヅダケ御伺ヒシテ  
置キタノハ、運輸關係殊ニ陸上ガ最  
モ我々ニ密接ナ關係ガアリマス、詰リ  
省線ノ乗降リカラ荷物ノ關係マデアル  
ノデスガ、ソレガ今マデハ取扱ガ惡  
イ、人民ニ對スル取扱ガ是レ位惡イモ  
ノハナカ、ドウカ是ハ希望デアリマス  
ガ、是ノ問題ガ一番重要デアルト云フ  
コトヲ考ヘテ戴イテ、モウ少シ明ルイ  
氣持ニセセテ貰ヒタイ、如何ナル訓令  
モ命令モ未ダアノ驛員ニ及バナイト  
云フ状態ハ悲シムベキ現象デハナ  
カ、斯ウ考ヘマシテ最後ノ言葉ト致シ  
テ思ヒマス、次ニハ工業方面ノ共同組

合ニ關スル質疑ヲ二三點申上ゲテ置キ  
付テハ既ニ同僚議員カラ相當御質疑モ  
アリマスガ、日本ノ中小工業者ノ脆弱性  
ト云ヒマスカ、一ツノ弱點ハ家内工業  
的デアリ、或ハ又小規模デアツテ、今  
後世界經濟ノ線ニ沿フ爲ニハ何ト致シ  
マシテモ、第一ハ「アメリカ」ノ大產業  
組織ト云フモノガ、日本ニ對スル產業  
ニ非常ニ影響スルコトヲ覺悟シナケレ  
バナラヌ、其ノ他世界ノ產業態勢ト云  
フモノガ段々ト「トラスト」的トナリ、  
所謂「實作業ト申シマスカ、流レ作業  
的ナ高能率ナ作業方法ト變ツテ來ルコ  
トガ、科學ノ進歩ト共ニ世界ノ趨勢アリ  
コトハ間違ヒナイノデアツテ、此ノ線  
ニ沿ツテ行ク爲ニハ、極メテ困難ナル  
日本ノ立場デアルコトハ申スマデモナ  
イノデアリマス、此ノ困難ヲ打切ル爲  
ニ、共同組合ハ能率ノ高度ナル共同組織  
ト云フモノノ利用ガ實施サレナケレ  
バナラナイノデアリマスガ、此ノ高度  
ノ共同組織ヲヤル爲ニ、其ノ工業ノ一  
番基盤ニナルモノハ、先づ第一ニ機械工  
業ハ原器ノ統一デナケレバナラスト  
思フノデアリマス、私モ長ク工業界カラ  
ラ離レテ居リマスカラ、日本ノ原器方  
ドノ程度統一サレテ居ルカ分リマセヌ  
ガ、「メートル」ニモ所謂米國式ノモア  
レバ英國式ノモアル、機械、旋盤等ニ  
モ米式、英式等種々雜多な様式ガ日本  
ニハゴザイマスガ、何レニ致シマシテ  
モ原器ガ統一サレテ居ラナカツナラ  
バ、共同作業ト云フモノハ出來ヌノデ  
アル、現在ノ日本ノ原器ノ狀態ハドウ  
デアルカ、又原器ノ統一ハ如何ニシヨ  
ウト御考ヘニナツテ居ルカ、此ノ點ヲ

○小出政府委員 中小工業が其ノ大部  
分ヲ占メテ居リマス所ノ機械工業ノ分  
野ニ付キマシテ、御説ノ通り今後合理  
化サレタ形態ニ於キマシテ、大量生産  
ヲ推進シテ行ク爲ニハ、機械設備ナリ、  
或ハ治具工具等方面ニ於キマシテモ、  
相當ノ規格ノ單純化ト申シマスカ、製  
品ノ互換性ト云フモノヲ確保シテ行ク  
コトハ必要デアリマスガ、之ニ關聯ス  
ル原器ノ統一ニ付キマシテハ、現在ド  
ウ云フ風ナ狀況ニアツテ、ドノ段階マ  
デ進ンデ居ルカト云フコトニ付キマシ  
テハ、實ハ此處ニ機械ノ専門ノ政府委  
員ガ居リマセヌノデ、何れ關係ノ人ヲ  
呼ビマシテ御答へ致シタイト思ヒマ  
ス

○前田委員 先日商工大臣ニアツタ  
カ、政府委員ニアツタカ、技術ノ問題  
ニ付テ商工省ニ技術室ヲ設ケテ、ソコ  
ニ研究ノ本部ヲ置クト云フコトデアリ  
マスガ、日本ノ機械工業ニ付キマシテ  
ハ、大阪方面ニ造ラレテ居ル工作機械、  
械、東京方面ニ造ラレテ居ル工作機械、  
又九州方面ニ造ラレテ居ル工作機械ト  
色々流儀ガアツテ、複雑ナ形ニ出來テ  
居ルノデアリマス、之ヲ高度ナ技術ニ  
シテ高能率ヲ發揮サス爲ニハ、何トシ  
テモ科學技術ノ發展デケレバナラナ  
イ、單ニ技術室ト云フヤウナコトデハ  
我々非常ニ心許ナイト思フノデアリマ  
ス、戰時中技術院ト云フモノガ設ケラレ  
タ、私ハ戰爭ガ濟ミマンタ今日、ドウ  
シテモ此ノ技術室ト云フヤウナモノデ  
カラ繼子坂ヒサレタ爲ニ、所謂技術院  
ノ效果ヲ發揮スルヨコトハ出來ナカツ  
タ、私ハ戰爭ガ濟ミマンタ今日、ドウ

カラモ相當有能有識ノ人ヲ集メテ、ロ  
本ノ工作機械其ノ他ニ付テ、日本ノ科  
學ノ粹ガ次カラ次ト製造サレ、計畫  
サセレテ行クタ云フコトデナケレバイカ  
スト思フ、唯單ニ自由經濟ノ上ニ立  
テ、民間ノ業者ニ競争サセテ之ヲ發展  
サセルト云フヤウナコトデハ、到底  
本ノ產業發展二期シ得ナイト考ヘテ異  
ルノデアリマスガ、此ノ技術ニテ廣く  
テ、科學技術ヲ一箇所ニ集メタル學院  
ト云ヒマスカ、技術院ト云クヤウナチ  
此ノ點ヲ御意思ガアルカドウカ、  
ノガアツテ、其ノ長ハ少クトモ國務大臣  
程度ノ人ガ統裁シテヤツテ行クト  
位ノ政府ニ御意思ガアルカドウカ、  
○小此木政府委員 只今前田サンノ御  
意見ハ頗ル私共感アリマシテ、實  
ハ過般モ技術家ノ尊重ト云フコトニ付  
キマシテ、色々検討致シタコトダアマ  
タノデアリマスガ、何ト言ヒマシテモエ  
フ位ノ政府ニ御意思ガアルカドウカ、  
ハ、技術家ヲ尊重スルコトガ勿論大仰  
デアルト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ  
政府ト致シマシテモ是ガ研究ニハ未だ  
暇掛ツタ譯デアリマセヌケレドモ  
現在是等ノコトニ付キマシテ、相當  
見ヲ闘ハンシテ居ルヤウナ次第デアリマ  
スカラ、今後出來得ル限り御期待ニ副  
フヤウ努力シタイト思ヒマス  
○前田委員 御親切ナル御答辯了承  
致シマシタ

資本・技術ノ一體化ト云フモノガ、  
單ナル勞資協調ト云フコトデナシニ  
極メテ有機的ナル一體化ト云フコト  
實現シナケレバ、私ハ世界經濟ノ落  
者ニナル虞ガ多分ニアルト思フノデ  
リマス、サウ云フ上カラ勞働者ノ經  
参加ト云フコトニ付テハ我々ハ強ク  
ンデ參リマシタノデ、此ノ點ニ付テ  
改メテ此ノ際御辯解ヲ聽カウトハ恩  
マセタガ、唯茲ニ本案ノ第三十一條  
役員ノ條項ノ中ニ「理事及び監事は  
總會において、組合員又は組合員た  
法人の業務を執行する役員の中から  
これを選任する。要スルニ組合員  
寺請ハバ總會デ互選スルト云ツタ  
デ、組合員以外ノ者ハ理事、監事ニ  
ナレヌト云フ條文ニナツテ居ルノデ  
リマス、併シ將來商業ト工業トガ一  
化セレタ協同組合モアラウン、或ハ  
業組合ガ色々ニ形デ協同組織ワヤル  
或ハ既ニ東京都ノ自轉車業ノ中ニハ  
共同管理ト云フヤウナ本部ガ設ケラ  
テヤツテ居ル所モアリマスガ、斯ウ  
タ場合ニ於ケル技術者、或ハ企業家  
ナイ技術者、勞働者、斯ウ云フモノ  
代表者ガ、此ノ協同體ノ中デノ重要  
ル役割ヲシナケレバナラヌ場合モアリ  
ト思フノデアリマス、其ノ場合ニ役  
ニナルコトハ出來ナイト云フコトニ  
リハセスカト恩フ、尙又はハ東京ア  
リノヤウナ大都會ニ於テハ別デアリ  
シ、又戰爭中ニ企業整備ノ爲ニ一旦  
退シタケレドモ、有能ナル士ガア  
ヒニ統制等ガ困難ナ場合モアリマス  
スガ、田舎ノ方ノ斯ワシタ工業組合  
ハ商業組合等ニ於キマシテハ、唯業  
ダケデハオ互ヒニ勢力爭ヒ、或ハオ  
リノヤウナ大都會ニ於テハ別デアリ  
テ、業務ハヤツテ居フヌケレドモ、  
術、能効等ヲ持ツテ居ル方モアルノ

唯、ガ、伍、ア、事、等、ニ、ナ、レ、ナ、イ、コ、ト、ニ、ナ、シ、テ、居、ル、何、モ、サ、ウ、シ、タ、コ、ト、ガ、決、シ、テ、私、ハ、民、主、的、ナ、組、織、ダ、ト、云、フ、コ、ト、ニ、ハ、ナ、ラ、ヌ、思、フ、ノ、デ、ゴ、ザ、イ、マ、シ、テ、大、體、總、會、ニ、於、テ、組、合、員、ガ、他、カ、ラ、強、要、サ、レ、タ、ノ、デ、ハ、ナ、シ、ニ、決、定、サ、レ、タ、モ、ノ、ハ、是、ハ、民、主、的、ニ、決、定、サ、レ、タ、ノ、デ、ア、ツ、テ、強、チ、組、合、員、デ、ア、ラ、ウ、ガ、組、合、員、デ、アル、マ、イ、ガ、サ、ウ、云、フ、コ、ト、ハ、問、題、デ、ナ、イ、ト、思、ヒ、マ、ス。

〔委員長退席、原(健)委員長代理  
著席〕

唯此ノ際、私ハ、本案ノ立案者ガ之ヲ考ヘ  
タノハ、或ハ、政治家ガ、斯、ウ、云、フ、所、へ、入  
ツ、政治的ナ策、動ノ下ニ、業界ヲ、攪、亂  
サセ、ルノ、デ、ハ、ナ、イ、カ、ト、思、フ、ノ、デ、ア、リ、マ、ス  
モ、ス、レ、バ、ア、ツ、タ、唯、一、面、ノ、惡、イ、鬪、ダ、ケ、ラ  
目、ニ、付、ケ、テ、斯、ウ、云、フ、タ、コ、ト、ヲ、立、案、サ  
レ、タ、ノ、デ、ハ、ナ、イ、カ、ト、思、フ、ノ、デ、ア、リ、マ、ス  
ル、ガ、本、當、ノ、民、主、的、ナ、社、會、ニ、於、テ、ハ、誰  
ヲ、選、任、シ、ヨ、ウ、ガ、民、主、的、ニ、其、ノ、組、合、員  
自、體、ガ、納、得、ニ、決、定、サ、レ、ル、モ、ノ、デ、アル、ナ  
ラ、バ、何、モ、組、合、員、業、者、デ、ナ、ケ、レ、バ、役、員  
ニ、ナ、ル、コ、ト、ハ、出、來、ヌ、ト、決、メ、ル、必、要、ハ、ナ  
イ、ト、思、フ、ソ、レ、ガ、何、故、ニ、斯、ウ、云、フ、コ、ト  
ヲ、決、定、サ、レ、テ、居、ル、カ、此、ノ、點、一、ツ、御、伺  
ヒ、シ、タ、イ、ノ、デ、ケ、リ、マ、ス

○小出政府委員 商工協同組合法ノ役  
員ノ問題、デ、ゴ、ザ、イ、マ、ス、ガ、今、御、指、摘、ノ  
ヤ、ウ、ニ、第、三、十、一、條、ニ、於、キ、マ、シ、チ、協、同  
組、合、ノ、役、員、ハ、理、事、ト、監、事、デ、ゴ、ザ、イ、マ  
ス、其、ノ、理、事、ト、監、事、ハ、何、レ、モ、總、會、ニ、於  
ル、役、員、ノ、中、カ、ラ、選、任、ス、ル、端、的、ニ、申、シ  
マ、ス、ナ、ラ、バ、要、ス、ル、ニ、組、合、員、ノ、中、カ、ラ  
ウ、ナ、法、人、デ、ア、リ、マ、ス、場、合、ニ、ハ、其、ノ、會  
社、ノ、取、締、役、ト、云、フ、ヤ、ウ、ナ、業、務、ヲ、執、行、ス  
テ、組、合、員、或、ハ、組、合、員、ガ、會、社、ト、云、フ、ヤ  
ノ、ミ、役、員、ヲ、選、任、ス、ル、ノ、デ、ア、リ、マ、シ、テ、  
組、合、員、以、外、ノ、所、謂、員、外、役、員、ト、云、フ、モ、ノ

ハ之ヲ認メテ居ナイノデゴザイマス、實ハ現在ノ商工組合法ニ於キマシテハ、統制組合ト施設組合ト二種類ゴザイマシテ、統制組合ノ方ハ統制事業ヲヤル統制團體デゴザイマスガ、施設組合ノ方ハ純然タル經濟事業ノミツ行フ自由ナル、謂ハ今度ノ協同組合ト略ミ同ジ性質ノモノデゴザイマス、現行法ニ於キマシテモ、統制組合ノ方ニ於テハ員外役員ハ認メテ居リマスルガ、施設組合ノ方ニ於キマシテハ員外役員ヲ認メテ居ナイノデアリマシテ、ソレニ依ツテ施設運営ヲ圓滑ニヤッテ居ルノデゴザイマス、斯ウ云フ風ニ致シマシタ趣旨ハ、統制組合ノ場合ニ於キマシテハ統制事業ヲ行ヒマスルノデ、或る程度組合員ノ利害ト相反スル居地カラ致シマシテ、統制ヲ行フト云フ風ナ必要ガゴザイマスルノデ、統制組合ニ付キマシテハ、場合ニ依ツテハヤウナコトモ統制ヲサセナケレバナラスト云フヤウナコトニナリマスルト、全ク組合員箇々ノ事業トハ離レマシテ、別個ノ立場カラ第三者ノ公平ナルニヤッテ行クト云フコトガ必要アラムニヤッテ行クト云フコトガ必要アラムカト忠ヒマス、併シナガラ之ニ反シマシテ今度ノ協同組合ナリ、或ハ現在ノ施設組合ノヤウナ組合ハ、法律ノ目的、趣旨カラ申シマシテ、所謂協同組合組織デゴザイマシテ、オ互ヒニ利害關係ノ共通ナ業者ノ方々ガ、オ互ヒニ自由ニ手ヲ握リ合ツテ、オ互ヒ同志ノ力、相互ノ共同利益ノ増進、事業ノ振興ヲ圖ツテ行カウト云フコトガ主眼デアリマス、之ニ付キマシテハ總テノ役

員ノ構成ナリ、事業ノ管理・實施、總テノ面ニ於キマシテオ互ヒ同志ノ手デ之ヲヤツテ行ケバ宜イノデアリマシテ、寧ロサウスルコトガ協同組合ノ主眼ト思ヒマス、サウ云フヤウナ協同組合ノ本質ニ鑑ミマシテ、組合員以外ノ方ヲ役員ニ致スト云フコトハ、其ノ必要モナケレバ、又却テサウスルコトニ依リマシテ、協同組合ノ本質ニ反シタラヤウナ弊害ヲ生ズル虞ガアル、只今政治家ガ役員ニナツタ場合等ノ御話ガ出来シテ、例ヘバ戰時中ニ於ケル統制組合等ニ於キマシテハ、往々ニシテ官僚ガ組合ニ天降リヨンシテ役員ニナルト云フヤウナ弊害モアツカト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ見地デナシニ、統制事業ヲ行ヒマセヌ純然タル共同ノ力ニ依ツテ、組合員達ガ手ヲ握リ合ツテ、共通ノ利害ノ下ニ事業ヲ進メテ行クナル職員ト云フノ人ノ力ヲ借りリナケレバ、忙シイ組合トシテハ、到底何カラウト思ヒマス、勿論御話ノヤウニ優秀ナル技術者デアリマストカ、或ハ有能ナス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、之ヲ役員トシテナク、例ヘバ事務局カラ相當ノ報酬ヲ出シマシテ、事務局ノ局長ナリ或ハ技術ノ長ト云フヤウナ形ニ於キマシテ、之ヲ活用スルコトハ幾ラデモ方法ガアラウカト考ヘマシテ、特ニ之ニ他ノ人ガ役員ニナル途ヲ開カナカツタヤウナ譯テゴザイマス○前田委員 現在ノ施設組合ハ、組合員カラ役員ヲ取シテ差支ナイト云フコトト一・只今ノ御説明ニ依リマスト、業

者ノ經濟行爲ニ付テハオ互ヒニ組合員デアルベキモノガ、其ノ理事監事等ノ役員ニナルベキモノデアルト云フ御言葉デアリマスガ、日本ノ今日マダノ業界ノ實態ヲ見マスルト、施設組合ハ當時戰爭中ニ起リマシタ統制組合ノ中ノ一分派トシテノ組合的形ヲ取ツタ場合ガ多イノデアリマス、勿論施設組合ハ單獨ナル一ツノ業種ノ地方的ナ團體デアツカコトハ認メマスガ、ソレトテモ此ノ上ニ統制組合法ノ色々ナ監督ノ指導連絡等ガアツテ、巧クソレガ「リード」サレテ居ツタ、斯ウ云フコトハ隨處ニアルノデアリマス、日本ノ今日デノ唯業者達ノ寄集マリデハ、殘念ナガウ、詰リ商賣根性ト云ヒマスカ、惡ク申シマスルナラバ我利々々亡者ノ、儲ケサヘスレバ宜イト云フヤウナ者ノ集マリデハ、協同的發展ト云フコトハ、口デハ言ヒ易イケレドモ、實際ニハ效果ガ擧ラナイ、斯ウ云フコトモノアルノデアリマシテ、ソレハドウ云フコトニナラウトモ其ノ組合員自體ガ納得ノ上デ適當ナリトスルナラバ、組合員デアラウト否トニ拘ラズ、其ノ組合員ノ自治ニ任セルト云フ建前デ是ハ宜イ譯ナノデアツテ、若シ組合ガ横ニ走廊ト云フヤウナ場合ニハ、ソレゞヤハリ業者自體ノ不利益カラ自ラ顧ルコトデモアラウシ、又他ノ優良團體等カラノ牽制等モアルコトデアラウシ、サウ云フコトニ付テ何モ本法ニ於テ、サウシタ一種ノ制限ヲ加ヘタヤウナコトハ必要ナイト思フノデアルガ、此ノ點重ネテ御伺ヒ致シテ置キマス

統制組合ノ非「メンバー」ト致シマシテ、大キク言ヘバ統制組合ノ「コントロール」ヲ受ケテ居ツタト云フモノモゴザイマスガ、是ハ統制組合ノ「コントロール」ヲ受ケテ居リマスガ故ニ、施設組合ノ運営方旨ク行ク、斯様ナ場合モ勿論アラウカト思ヒマスガ、必ズシモサウ云フ場合ノミヂハナイト考へ、シテ居リマス、施設組合トシテ獨自ノ立場ニ於テ立派ニ運営ヲシテ居ルモノガヤハリ大部分ニアラウド考ヘマス、サウ云フ意味ニ於キマシテハ、合ナリ協同組合、何レモ其ノ本質ニ於キマシテハオヒノ同業者ノ、自分達ノ組合ダト云フ意味ニ於キマシテハ、オ互ヒノ事業ヲ執行シ、オ互ヒノ組合ヲ代表スル人々選ビ出スト云フノガ飽クマデモ本質デアリマシテ、第三者ヲ其處ニ持ツテ來ル、今御話ノヤウニ第三者ガ居ナケレバ組合ガ成リ立タナイ、寧ロサウ云フヤウナ日本ノ中小工業ノ發達ノ段階ハマダノ程度ノモノデアツテ、オ互ヒノ力ダケデハ立直ラナイノダト云フコトニナリマスト、レハ協同組合組織其モノ否定デアリマシテ、サウ云フ協同組合組織ハ、假令ソニニ第三者ヲ入レテ見マシテモ、到底發達ノ見込ミハナノデハナイカ、極論致シマスレバ左様ナコトニナラウカト思ヒマス、別段之ニ依リマシテ制限ヲ設ケルト云フ趣旨デハナクシテ、協同組合ノ本質カラ流レ出ル當然ノ歸結致シマシテ其處ニ員外役員ト云フヤウナモノノ本質ヲ認メナカッタ、斯ワ云フ風ナ立場ニ立ツテ考ヘテ居ル次第アリマス

産業再建ノ鍵ハ、勞働ト技術ノ高度ノ利用ト云フコトナクシテハ、國際經濟ノ水準ニ上ルコトハ困難デアルト云フ建前カラ、進ンデハ勞働者ノ經營管理ノ問題へ進ミタイト思ヒマスジ、尙ホ此ノ問題ニ關聯致シマシテ、會社法ノ改正等ノ問題モアリマスガ、是ハ又後日商工大臣等ノ御出席ガアツテ、機會ガアレバスルコトニ致シマシテ、私ノ質問ハ一應是デ打切ルコトニ致シマス○原へ建委員長代理、東隆君

○東委員 私ハ協同民主黨別途ニ協同組合法案ヲ出サウト致シテ居リマスノデ、ソレニ關聯ヲシテ多少御伺ヒヲ致シタイト存ジマス、協同組合ト云フ考へ方カラ見マスト、凡ソ生産者ノ協同組合ト消費者ノ協同組合、斯ウ云フニシニナルノデハナイカト存ジマス、此ノ場合ニ商工協同組合ノ場合ト致シマシテ、中小商工業者ノ協同組合ニ付テハ、非常ニ疑問ヲ持タザルヲ得ナイ譯ニアリマス、ソヨデドウ云フ風ナ考ヘ方デ中小商業者ノ協同組合ヲラレルヤウナ考ヘニナツタカ、私ハ其ノ場合ニ付テ色々考ヘテ斯ウ云フ點ヲ考ヘタノデアリマス、商業者ノ場合ヘ、配給ニ依ツテ、場所或ハ時、其ノ他ノ變更ニ依ツテ效用ヲ高メルト云フヤウナコトデ、一種ノ生産ヲコニヤツテ居ルノデアリマス、生産者ノ協同組合ハ斯ウ云フヤウナ觀念デ考フ事キデハナイカ——ユデ付ケカセ知レマセヌガ、サウ云フヤウナ氣ガ致スノデアリマスガ、ドウ云フ御考ヘで協同組合ノ中ニ

商業者ノ協同組合ヲ入レラレタカ、其ノ御考ヘヲ御聽キシタノデアリマス  
○小出政府委員 東委員ノ御考ヘニナツテ居ラレマスル協同組合ノ理念ト、  
我々ノ用ヒテ居リマスル協同組合ノ言葉ドノ間ニ或ハ考ヘ方ノ食ヒ達ヒガア  
ヒマスガ、私共ノ方デ今度立案致シマシタ商工協同組合ノ目的ト申シマスカ  
其ノ趣旨ハ、組合ヲ組織シテ居リマスル組合員箇々ノ「メンバー」ノ協同ノ利益ヲ  
益ヲ増進致シマシテ、中小商工業ノ現状ノ極メテ不合理ナ經營狀態ヲ合理化  
在ノ極メテ不合理ナ經營狀態ヲ合理化シ改善致シマシテ、サウスルコトニ依  
テ組合ヲ協同事業ノ力ニ依ツテ、初メテ組合員全體ノ節々ノ事業ノ合理化  
方圖ラレ、事業全體ノ振興ガ出來ル、  
斯ウ云フヤウナ趣旨ニ依ツテ作ツタノ  
デアリマス、隨ヒマシテ工業ノ場合ニ  
於テハ、其ノ「メンバー」デアル各工業  
者ノ生產力ノ向上、經營ノ改善ガヤハ  
リ其ノ狙ヒニナツテ居リマスシ、商業  
者ガ作りマス協同組合ノ場合ニ於キマ  
シテハ、ソレ等ノ組合ニアリシテ簡々  
ノ商業者ノ經營ノ合理化ヲ圖リマシ  
テ、商業者ガヤハリ商業者トシテ振興  
シ、健全ナル發達ヲ致シマスル爲ニ、  
此ノ協同組合ノ組織ヲ活用シテ行ク  
斯ウ云フヤウナ狙ヒデ考ヘテ居ル譯テ  
アリマシテ、商業者ノ協同組合ハ、ソ  
レガ生產協同組合ノ方へ發展シテ行ク  
ト云フコトヲ狙ヒト致シテ居ルヤウナ  
ツノ目的ニアラウト思ヒマス、其ノ  
譯デハナイノアリマス

場合ニ普通ノ資本主義發達ノ過程ニアリマスト、是ハ大企業ニ對スル對立ノ形態ニテ當然現ハレル、斯ウ考ヘマスガ、今回ノ場合ニハサウ云フ意味ハ別トシテ、例へバ市場ノ經營ニアリマストカ、或ハ「デパート」<sup>ヲ</sup>經營アルトカ、或ハ共同ノ仕入レトカ、其ノ他各般ノ仕事ソ出來ルト思ヒマスガ、サウ云フヤウナコトヲヤリマスト、是ハ協同組合自體ノ直營ニナツテ來ル、ソレデサウ云フヤウナモノヲ御認メナルカドウカ、單ニ協同組合ノ組合員デアル所ノモノノ經營ノ合理化、或ハ改善、サウ云ウヤウナ方面ダケニ止メルカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

ツテ居リマスト同ジャウナ仕入ノ力ガ  
與ヘラレルコトニニナル譯デアリマシ  
テ、中小業者ノモノガ獨立シテ居ル場  
合、ハ持ツテ居ナカツタ力ヲ、協同組  
合ヲ組織スルコトニ依ツテ、大規模經  
營ト同ジ能力ヲソコニ與ヘラレルト云  
フヤウナ點ガ主眼ニナツテ居ルノデゴ  
ザイマズ、ソコデ今御指摘ニナリマシ  
タヤウニ、組合自身ガ企業ヲ持ツテ、例  
シ、或ハ店舗ヲ持チマシテ、組合ガ自  
分デ事業ヲ全部ヤツチシマフ、言ヒ換  
ヘマスレバ、組合員ガヤツテ居リマス  
ルト同ジコトヲ組合ガヤリマシテ、例  
ヘバ、組合員ガ仕入スペキ商品ヲ組合  
ガ全部仕入シ、組合員ガ賣ルベキ商品  
ヲ全部組合ガ賣ルト云フコトニナリマ  
スト、ソレハ結局組合員ト云フモノ  
ハ、單ニ組合ニ對スル株主デアリ、或  
ハ其ノ務務者ニ過ギナイト云フコトニ  
ナル譯デアリマシテ、組合員ノ箇々ノ  
事業ノ獨立性ヲ奪フヤウナ組合ノ事業  
ハ是ハ組合トヘ言ヘナイ、寧ロ普通ノ  
會社ト同ジヤウナコトニナル譯デアリ  
マスノデ、組合員ノ箇々ノ事業ノ獨立  
性ヲ全ク奪ツテ、全部組合ガヤツテシ  
マフト云フヤウナコトハ認ヌナイ方針  
デゴザイマス

ガ皆聯屬ヲシテ行ク、サウ云フ場合ニ  
私ハ直營ノ仕事ガ當然附帶シテ行カナ  
ケレバ、大企業ニ對スル中小産業者ノ  
生キル道、或ハ又大企業ノ利益ニナル  
點ヲ享有スルコトハ出來ナイ、斯ウ云  
フ考へ方ヲ持ツ譯アリマスガ、若シ  
直營、關係ノ仕事ガ出來ルト致シマス  
ナラバ、此處ニ掲ゲテ居リテ聯合會  
ノ形態、協同組合ノ聯合會ノ形態ハ之  
ニハナイ譯アリマス、サウ云フヤウ  
ナモノモ、尙且小サ商工協同組合ノ  
出來ナイ部面ヲ、サウ云フヤウナモノ  
デ以テヤツテ行カナケレバナラヌノデ  
ハナイカ、斯ウ云フヤウナ感ジヲ持ツ  
タノデアリマス、併シ直營關係ノ仕事  
ハ進メオレナインダ、斯ウ云フ御話デ  
アリマスノぞ、其ノ點ハ打切りマス  
ソゴデ次ニ私ハ御伺ヒ申上ダタイノ  
ハ中央會ノ關係アリマス、是ハ中央ニ  
一個椿ヘル、斯ウ云フ關係アリマス  
ガ、私ハ商業トソレカラ工業ト農業、  
斯ウ別々ニ三ツ中央會ノ如キモノが出  
來上ル方ガ、是ハ却テ仕事ガヤリ宜イ  
ノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ考へ方  
ヲ持チマスガ、之ヲ一本ニサレテ居ル  
ヤウデアリマス、ソレカラモウ一ツ都  
道府縣ニ支部ガ出來ルノデハナイカ、  
私ハ斯ウ考へマスガ、此ノ支部ノ關係  
ノコトモ、何カ規定ガナイヤウニモ見  
エマスガ、是ハドウ云フヤウニナルノ  
デスカ、私ハ商工會議所ガ社團法人ヲ  
以テ出來上ル、斯ウ云フコトニナリマ  
シテ、一方ニ於テサウ云フモノガ出來  
テ政治的ナ運動ヲヤツテ行ク、サウシ  
テ協同組合ノ方ハ事業團體、斯ウ云フ  
ヤウナ形ニナッテ參りマスト、中央會  
ノ形ハ非常ニ政治的ナ方面ニ動イテ行  
クノデハナイカ、是ハ協同組合デ以  
テ、別ニ出來上リマス農村或ハ漁村ニ

於ケル所ノ協同組合、サウ云フヤウナモノ、或ハ都市ノ中ニ於ケル所ノ消費者者ノ協同組合、サウ云フヤウナモト、同ジク協同組合ト云フ旗幟ヲ掲ゲタモノト中デ、非常ニ政治的ナ争ヒ、或ハ其ノ他ノ問題ガ相當起シテ來ルノデハナイカト私思ビマスガ、サウ云フヤウナ場合ニ於ケル中央會ノ運動ノ範圍ト云フカ、ドウ云フヤウナ程度テ以テ其ノ範圍ヲ、政治的ナ部面ニ付テソレヲ食ヒ止メラレルカ、サウ云フ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス○小出政府委員　只今ノ御質問ニ御答へ致シマスル前ニ、其ノ一ツ前ノ御質問ニ付キマシテ、尙ホ私ノ申シ足リナカツタ部分ガアリマシタノデ補足致シテ置キマス、組合ノ事業ト致シマシテ直營事業ハ出來ナイト云フ風ニ、單純ニ申上ゲタノデハゴザイマセヌノデ、組合ガ全部ノ事業ヲ組合直營デヤツテシマフト云フコトハイケナインデアツテ、御指摘ノヤウニ組合ガ市場ヲ持ツテ居ル、尙ホ一部分他ノ方面デハ組合員ガソレバ、獨立ニ仕事ヲシテ居リマシテ、双方兩々相俟シテ事業ヲヤルト云フコトハ勿論差支ヘナインデゴザイマス、ソレカラ聯合會ニ闘スル規定ガナイト云フ御話アリマシタガ、實ハ聯合會ト云ク名稱ハ法律ノ中ニハゴザイマセヌガ、聯合會組織ノコトハ此ノ法律デモ出來ルコトニナツテ居リマシテ、ソレハ第七條ニ於キマシテ、組合ヲ組織スルモノノ範圍ノ中ニ、團體デテ更ニ組合ガ組織出來ルト云フコトヲ書イテ居リマスノハ、實ハ聯合會ヲ意味シテ居ルノデアリマシテ隨ヒマシテ法律上聯合會ト云フ文字ハ使フテ居リマセヌガ、定款ニ於テ聯合會ト云フ文字ヲ使フコトハ少シモ差支ヘナイコ

トニナツテ居リマス、此ノ點ダケ前フ  
御質問ノ分ニ付キマシテ補足致シテ置  
キマス

ソレカラ只今ノ御質問デゴザイマス  
ガ、商工協同組合中央會ノ問題デアリ  
マス、之ニ付キマシテ商業ト工業、ソ  
レカラ鑑山關係ノ商業ト本建ニシタ  
ト工業者ト一緒ニ作ル組合モアリマ  
ス、或ハ鑑山業者ト商業者ガ一縁ニ作  
ル組合モゴザイマシテ、其ノ間相互ニ  
色々ノ關聯モゴザイマスルシ、其ノ點  
ハ現在ノ商工組合法ニ於テ、商工組合  
中央會ト云フ一本ニナツテ居ル關係ト  
至ク同ジデゴザイマスノデ、之ヲ一本  
ニ致シタノデゴザイマス、組合ノ内容  
ハサウ云フ風ニ業種別ニ分レル場合モ  
アリマスルシ、綜合的ナ場合モアリマ  
ス、云フヤウナ點ト、ソレカラ中央會  
ガ三ツニ分レマスルト、却テ相互ニ對  
立ト云フヤウナ問題モゴザイマスル  
シ、昔商業組合中央會ト工業組合中  
央會ト二ツニ分レテ居リマシテ、其ノ  
間ガ必ズシモ圓滑ニ行ツテ居ナカツタ  
ト云フ點モアリマスルシ、中小商工業  
者ノ立場ニ於キマシテハ共通ノ問題ガ  
非常ニ多イ譯デアリマスルノデ、其ノ  
力ヲ強メルト云フ意味ニ於キマシテ  
モ、一本ニシタ方ガ宜シカラウ、斯様  
ニ考ヘマシテ中央會ヲ一本建ニシナイ  
デ、一本ニ致シタ譯デゴザイマス、ソ  
レカラ各府縣ノ支部ゴザイマスガ、  
是ハヤハリ御話ノ通り、各府縣毎ニ支  
部が出來ルト思ヒマス、但シ是ハ法律  
ニハ特ニ書ク程ノコトモナイト考ヘマ  
シテ、法律ニ書キマセヌデ中央會ノ定  
款ニ之ヲ書クコトニ豫定致シテ居リマ  
ス

ソレカラ中央會ノ行ヒマスル機能  
デゴザイマスガ、是ガ政治團體化スル  
ラドウカ、斯ウ云フ御話デゴザイマス  
ルガ、今度ノ協同組合ハ商業者ダケデ  
作ル組合モアリマスルシ、或ハ商業者  
ト工業者ト一緒ニ作ル組合モアリマ  
ス、或ハ鑑山業者ト商業者ガ一縁ニ作  
ル組合モゴザイマシテ、其ノ間相互ニ  
色々ノ關聯モゴザイマスルシ、其ノ點  
ハ現在ノ商工組合法ニ於テ、商工組合  
中央會ト云フ一本ニナツテ居ル關係ト  
至ク同ジデゴザイマスノデ、之ヲ一本  
ニ致シタノデゴザイマス、組合ノ内容  
ハサウ云フ風ニ業種別ニ分レル場合モ  
アリマスルシ、綜合的ナ場合モアリマ  
ス、云フヤウナ點ト、ソレカラ中央會  
ガ三ツニ分レマスルト、却テ相互ニ對  
立ト云フヤウナ問題モゴザイマスル  
シ、昔商業組合中央會ト工業組合中  
央會ト二ツニ分レテ居リマシテ、其ノ  
間ガ必ズシモ圓滑ニ行ツテ居ナカツタ  
ト云フ點モアリマスルシ、中小商工業  
者ノ立場ニ於キマシテハ共通ノ問題ガ  
非常ニ多イ譯デアリマスルノデ、其ノ  
力ヲ強メルト云フ意味ニ於キマシテ  
モ、一本ニシタ方ガ宜シカラウ、斯様  
ニ考ヘマシテ中央會ヲ一本建ニシナイ  
デ、一本ニ致シタ譯デゴザイマス、ソ  
レカラ各府縣ノ支部ゴザイマスガ、  
是ハヤハリ御話ノ通り、各府縣毎ニ支  
部が出來ルト思ヒマス、但シ是ハ法律  
ニハ特ニ書ク程ノコトモナイト考ヘマ  
シテ、法律ニ書キマセヌデ中央會ノ定  
款ニ之ヲ書クコトニ豫定致シテ居リマ  
ス

ス、ソレカラ中央會ノ行ヒマスル機能  
デゴザイマスガ、是ガ政治團體化スル  
ラドウカ、斯ウ云フ御懸念ハ洵ニ御尤セ  
レカラ鑑山關係ノ商業ト本建ニシタ  
ト工業者ト一緒ニ作ル組合モアリマ  
ス、或ハ商業者  
ト工業者ト一緒ニ作ル組合モアリマ  
ス、或ハ鑑山業者ト商業者ガ一縁ニ作  
ル組合モゴザイマシテ、其ノ間相互ニ  
色々ノ關聯モゴザイマスルシ、其ノ點  
ハ現在ノ商工組合法ニ於テ、商工組合  
中央會ト云フ一本ニナツテ居ル關係ト  
至ク同ジデゴザイマスノデ、之ヲ一本  
ニ致シタノデゴザイマス、組合ノ内容  
ハサウ云フ風ニ業種別ニ分レル場合モ  
アリマスルシ、綜合的ナ場合モアリマ  
ス、云フヤウナ點ト、ソレカラ中央會  
ガ三ツニ分レマスルト、却テ相互ニ對  
立ト云フヤウナ問題モゴザイマスル  
シ、昔商業組合中央會ト工業組合中  
央會ト二ツニ分レテ居リマシテ、其ノ  
間ガ必ズシモ圓滑ニ行ツテ居ナカツタ  
ト云フ點モアリマスルノデ、其ノ  
力ヲ強メルト云フ意味ニ於キマシテ  
モ、一本ニシタ方ガ宜シカラウ、斯様  
ニ考ヘマシテ中央會ヲ一本建ニシナイ  
デ、一本ニ致シタ譯デゴザイマス、ソ  
レカラ各府縣ノ支部ゴザイマスガ、  
是ハヤハリ御話ノ通り、各府縣毎ニ支  
部が出來ルト思ヒマス、但シ是ハ法律  
ニハ特ニ書ク程ノコトモナイト考ヘマ  
シテ、法律ニ書キマセヌデ中央會ノ定  
款ニ之ヲ書クコトニ豫定致シテ居リマ  
ス

ス、ソレカラ中央會ノ行ヒマスル機能  
デゴザイマスガ、是ガ政治團體化スル  
ラドウカ、斯ウ云フ御懸念ハ洵ニ御尤セ  
レカラ鑑山關係ノ商業ト本建ニシタ  
ト工業者ト一緒ニ作ル組合モアリマ  
ス、或ハ商業者  
ト工業者ト一緒ニ作ル組合モアリマ  
ス、或ハ鑑山業者ト商業者ガ一縁ニ作  
ル組合モゴザイマシテ、其ノ間相互ニ  
色々ノ關聯モゴザイマスルシ、其ノ點  
ハ現在ノ商工組合法ニ於テ、商工組合  
中央會ト云フ一本ニナツテ居ル關係ト  
至ク同ジデゴザイマスノデ、之ヲ一本  
ニ致シタノデゴザイマス、組合ノ内容  
ハサウ云フ風ニ業種別ニ分レル場合モ  
アリマスルシ、綜合的ナ場合モアリマ  
ス、云フヤウナ點ト、ソレカラ中央會  
ガ三ツニ分レマスルト、却テ相互ニ對  
立ト云フヤウナ問題モゴザイマスル  
シ、昔商業組合中央會ト工業組合中  
央會ト二ツニ分レテ居リマシテ、其ノ  
間ガ必ズシモ圓滑ニ行ツテ居ナカツタ  
ト云フ點モアリマスルノデ、其ノ  
力ヲ強メルト云フ意味ニ於キマシテ  
モ、一本ニシタ方ガ宜シカラウ、斯様  
ニ考ヘマシテ中央會ヲ一本建ニシナイ  
デ、一本ニ致シタ譯デゴザイマス、ソ  
レカラ各府縣ノ支部ゴザイマスガ、  
是ハヤハリ御話ノ通り、各府縣毎ニ支  
部が出來ルト思ヒマス、但シ是ハ法律  
ニハ特ニ書ク程ノコトモナイト考ヘマ  
シテ、法律ニ書キマセヌデ中央會ノ定  
款ニ之ヲ書クコトニ豫定致シテ居リマ  
ス

ス、ソレカラ中央會ノ行ヒマスル機能  
デゴザイマスガ、是ガ政治團體化スル  
ラドウカ、斯ウ云フ御懸念ハ洵ニ御尤セ  
レカラ鑑山關係ノ商業ト本建ニシタ  
ト工業者ト一緒ニ作ル組合モアリマ  
ス、或ハ商業者  
ト工業者ト一緒ニ作ル組合モアリマ  
ス、或ハ鑑山業者ト商業者ガ一縁ニ作  
ル組合モゴザイマシテ、其ノ間相互ニ  
色々ノ關聯モゴザイマスルシ、其ノ點  
ハ現在ノ商工組合法ニ於テ、商工組合  
中央會ト云フ一本ニナツテ居ル關係ト  
至ク同ジデゴザイマスノデ、之ヲ一本  
ニ致シタノデゴザイマス、組合ノ内容  
ハサウ云フ風ニ業種別ニ分レル場合モ  
アリマスルシ、綜合的ナ場合モアリマ  
ス、云フヤウナ點ト、ソレカラ中央會  
ガ三ツニ分レマスルト、却テ相互ニ對  
立ト云フヤウナ問題モゴザイマスル  
シ、昔商業組合中央會ト工業組合中  
央會ト二ツニ分レテ居リマシテ、其ノ  
間ガ必ズシモ圓滑ニ行ツテ居ナカツタ  
ト云フ點モアリマスルノデ、其ノ  
力ヲ強メルト云フ意味ニ於キマシテ  
モ、一本ニシタ方ガ宜シカラウ、斯様  
ニ考ヘマシテ中央會ヲ一本建ニシナイ  
デ、一本ニ致シタ譯デゴザイマス、ソ  
レカラ各府縣ノ支部ゴザイマスガ、  
是ハヤハリ御話ノ通り、各府縣毎ニ支  
部が出來ルト思ヒマス、但シ是ハ法律  
ニハ特ニ書ク程ノコトモナイト考ヘマ  
シテ、法律ニ書キマセヌデ中央會ノ定  
款ニ之ヲ書クコトニ豫定致シテ居リマ  
ス

ス、ソレカラ中央會ノ行ヒマスル機能  
デゴザイマスガ、是ガ政治團體化スル  
ラドウカ、斯ウ云フ御懸念ハ洵ニ御尤セ  
レカラ鑑山關係ノ商業ト本建ニシタ  
ト工業者ト一緒ニ作ル組合モアリマ  
ス、或ハ商業者  
ト工業者ト一緒ニ作ル組合モアリマ  
ス、或ハ鑑山業者ト商業者ガ一縁ニ作  
ル組合モゴザイマシテ、其ノ間相互ニ  
色々ノ關聯モゴザイマスルシ、其ノ點  
ハ現在ノ商工組合法ニ於テ、商工組合  
中央會ト云フ一本ニナツテ居ル關係ト  
至ク同ジデゴザイマスノデ、之ヲ一本  
ニ致シタノデゴザイマス、組合ノ内容  
ハサウ云フ風ニ業種別ニ分レル場合モ  
アリマスルシ、綜合的ナ場合モアリマ  
ス、云フヤウナ點ト、ソレカラ中央會  
ガ三ツニ分レマスルト、却テ相互ニ對  
立ト云フヤウナ問題モゴザイマスル  
シ、昔商業組合中央會ト工業組合中  
央會ト二ツニ分レテ居リマシテ、其ノ  
間ガ必ズシモ圓滑ニ行ツテ居ナカツタ  
ト云フ點モアリマスルノデ、其ノ  
力ヲ強メルト云フ意味ニ於キマシテ  
モ、一本ニシタ方ガ宜シカラウ、斯様  
ニ考ヘマシテ中央會ヲ一本建ニシナイ  
デ、一本ニ致シタ譯デゴザイマス、ソ  
レカラ各府縣ノ支部ゴザイマスガ、  
是ハヤハリ御話ノ通り、各府縣毎ニ支  
部が出來ルト思ヒマス、但シ是ハ法律  
ニハ特ニ書ク程ノコトモナイト考ヘマ  
シテ、法律ニ書キマセヌデ中央會ノ定  
款ニ之ヲ書クコトニ豫定致シテ居リマ  
ス

ラウト思ヒマスガ、此ノ場合ニ倉庫業  
ノ方ハ別トシテ、商品擔保デ金融ヲス  
ル協同組合ノ金融ノ原則ハ、私ハ對人  
信用ニ於テスルノガ原則デアラウト思  
ヒマス、併シ商品ヲ擔保ニシテ金融  
スルト云フ面ガ、市街地信用組合ノ方ニモ  
餘り發達シテ居リマセヌシ、ソレカラ  
其ノ他ノ方面ニモ餘り發達シテ居リマ  
セヌ、ソレデ私ハ都市ノ金融ヲ圓滑ニ  
スル爲ニ、斯ウシタ部面ヲ開ク必要ガ  
アルノデハナイカト云フコトヲ、豫  
ネ豫ネ考ヘテ居ル譯デアリマスカ、如  
何ナモノデアリマスカ

○小出政府委員 御話ノ通り、中小業  
者ガ金融ヲ受ケマス場合ノ擔保力ト云  
フモノハ極メテ貧弱デアリマシテ、特  
ニ不動産ト云フ物的擔保モゴザイマ  
セヌシ、又個人保證ト云フ點ニナリマ  
シテモ、人的信用力モ薄イ譯デアリマ  
スノデ、今御話ノヤウニ商品擔保ト云  
フ面ヲモット促進スルコトハ、洵ニ必  
要ナコトデアルト考ヘテ居リマシテ、  
出來ルダケサウ云フ風ナ便宜ナ方法デ  
融通出來ルヤサニ、今後金融機關トノ  
間ニ相談ヲ致シマシテ努力ヲ致シタ  
イ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○東委員 色々有難ウゴザイマシタ、  
是デ私ノ質問ヲ終リマス

○原健 委員長代理 ソレデハ本日ハ  
是デ散會致シマス、明日ハ午前十時カ  
ラ委員會ヲ繼續致シマス

午後三時五十三分散會

〔参照〕

商工組合中央金庫の役員名簿  
各役員の出身別（官吏出身か又は民  
間出身の區別）

昭和二十一年十一月十九日印刷

昭和二十一年十一月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局